滿洲日報
十一月四日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

陸海軍も削減を認め 豫算編成の前途樂觀
九日閣議で概算決定か

【東京四日發】來年度豫算編成について首相、藏相、鐵相等の間に愼重協議を重ね、藏相は陸海軍新規要求に關し陸相、海相と直接折衝を重ね、一方主計局をしてその要求に對しては相當額を認め査定せしめ、豫算の圓滿成立に努めた結果、**陸海軍でも多少の削減は已むを得ぬ**と認むるに至つた模樣であるため政府首腦部の**豫算編成に對して漸く前途を樂觀**し七日の閣議で午前午後豫算會議を進めこの前後に藏相は陸相と最後の會見を行ひ直接交渉を爲し八日各省事務當局と大藏事務當局との間に折衝を重ね**九日には閣議を開き豫算概算書を決定**することになるだらうから大演習前に豫算は出來るだらうと樂觀してゐる

明年度豫算は廿二億
新規要求は七億圓を承認

【東京四日發】十四億に及ぶ明年度各省新規要求に對する大藏省の豫算省議も愈々四日を以て査定を終了、出來れば今日直に各省に内示それぞれ折衝の上、七日の閣議に附議する運びとなつた、而して大藏省は既定方針通り

一、新規要求は緊要已むを得ぬもののみに限ること
一、前項經費は各省とも既定經費節約を以て財源に充つること
一、滿洲事件費については今後の情勢に應じ別途に詮議すること
一、時局匡救費は本年度豫算を基準として定め明年以降三ケ年繼續事業とすること

の四大方針を以て新規要求削減の方針で臨めるため要求額の半額の七億或は六億程度に査定される模樣である、之に對し各省の復活要求も猛烈なるべきは明白で結局新規要求の承認さるゝもの七億圓を越えるべく基準豫算十五億圓と合し廿二億に及ぶべく前年度豫算を越ゆること三億圓の巨額に對する譯である卽ち我財政は世界恐慌の嵐の中に時局匡救及び軍事費といふ内外不安の要求より我財政史上未曾有の數字を現出するに至つたが、この數字こそ現下日本の政治經濟上の苦鬪を象徴するものである

新規公債十億
歳入見積りは約十三億

【東京四日發】政府は明年度豫算歳出の査定に先だち歳入最高見積りにつき省議を開いたが、大體七年度實行豫算と大差なしとの結論に達した、然らば來年度歳入は十二億八千萬圓程度で廿二億の歳出を賄ふには增税せぬことに決してゐる今日公債に依たねばならぬことになつた、從つて明年度新規公債は十億圓に達するものと豫想さるゝが、九月末現在六十三億圓に達せる公債は本年末には七十億圓に達すべく之に十億圓を加へ明年は公債額八十億圓に達することゝなつた、而して時局匡救の必要繼續すれば昭和十年度は百億圓に達し利拂ひのみで五億圓近くを要することゝなり利拂のために更に公債を發行する時代も來る時勢に當面した、而して政府も財政の前途を憂慮する以上行財税制整理の擧に出づるに至るべしと豫想されてゐる

瀋陽縣の露人調査

瀋陽縣警察廳は管下各警察署に對し居住ロシア人の姓名、年齡、職業等を詳細調査し本月十日迄に報告すべしと命令した【奉天電話】

けさ大連に着いた謝答禮專使一行 (×印謝氏)

松岡代表露都着
二日に亘り勞農要人と交驩

【モスクワ三日發】滿洲問題審議の聯盟總會列席のためジユネーヴに特派された松岡代表以下隨員及び記者團の一行二十二名は三日午後モスクワ着、ソウエート外務人民委員會當局、大使代理參事官以下の出迎へを受けホテルに入つた、松岡代表は二日滯在ソウエート要人と儀禮的交驩を爲したる後ベルリン經由ジユネーヴに向ふ豫定である

國賓としての御待遇に 一同深く感激
滿洲國承認答禮の大任を果して けさ謝專使一行歸る

晩秋の濃い朝靄をわけて陽の光に描き出された鮮かな滿洲國旗を前檣高く靡かして快走する定期船あめりか丸は滿洲國三千萬の民衆の謝意を籠めて日本に使ひした滿洲國承認答禮專使謝介石氏一行を乘せて四日午前八時そのスマートな彼女の姿を大連港外に認めた、此日風やゝ強く波荒けれど大任を果して歸る謝專使一行は長い船路に些かも疲れを見せず黑の滿洲國服一の裝ひに、丸刈頭にふくよかなその童顏にいつに變らぬ微笑を浮べた謝總長は殊の外晴々とした喜びに胸おどらせつゝ出迎への人々に一々握手の禮を交し、自ら出迎への記者團を同船サロンに導き歸着最初の會見において左の如く感激に充ちた談話をなした

僅か三週間の短い期間において滿洲國承認答禮の大任を恙なく果して無事こゝに歸着しました日本に到着以來到る處で盛大且つ熱誠なる歡迎を受けました事は私はじめ隨員一行も感激おく能はざるものであります、殊に吾々が最も光榮とする處は畏くも

貴國帝室 におかせられて國賓として御待遇下され、親しく隨員一同拜謁の光榮に浴した事で、全く恐懼措く能はざる次第であります、私が一番感激致しました事は陛下にはわが滿洲國の國情につき御下問あり特にハルビン水災についてはかねてより御宸襟を惱ませられ再三再四詳しく御下問あらせられた事は一視同仁大の御心として私は全く感泣致しましたが、この感激は獨り私のみならず滿洲國民全體の感激であらねばなりませぬ、私は一々詳しく御答へ申上げその當時御下賜金を拜受しました御禮を申上げました、皇后陛下にも吾々に非常なる御仁德を垂れ給ひ御陪食を賜はつた際「專使等の旅行中雨降りは困るであらう是非とも雨が降らねばよいがと祈つてゐる」旨御仰せあり、非常に感激しましたが、天も

皇后陛下 の御仁心に感じてか吾々はこの恩澤に浴して一日も雨に降られた事なく豫定通り無事に大任を果し得たのであります、日本朝野の歡迎はこれまた宛然凱旋將軍の如き歡迎で吾々はこの感激の中において日滿提携して將來共に相協力一致一日も早く王道樂土を建設し以つて世界平和に貢獻しなければならないと益々固く決心したのであります、斯く公的方面は無事に終りましたが私の私的方面は時間もなく知友諸氏に親しくお目にかゝられず電報と澤山頂戴したが一々御禮も申上げられず、誠に殘念に思つてゐます、最後に斯くの如く旅行中は一度も風雨に災ひされずまた病氣その他の故障は何一つなく、陛下の御仁慈と共に全くこれ天佑と申すべくたゞ感激の二字に盡きますが、恐らく

日滿關係 の將來も斯くの如くスラ〳〵と無事に進むものと確信するものであります

斯くして船は靜かに埠頭岸壁に運ばれ、滿鐵正副總裁代理松本秘書役、小川市長、藏本視學長その他日滿官民多數の出迎へを受けて上陸、折柄埠頭待合所における歸還遺骨の慰靈祭に臨み靈前に合掌して滿洲の野に眠る勇士の靈を慰めた後自動車を驅つてヤマトホテルに入つたが、四日は小川市長並に滿鐵正副總裁を訪問、歸着の挨拶をなし一泊、五日午前九時大連發歸京の豫定である

謝專使滿鐵訪問

滿洲國外交部總長謝介石氏は四日午前十時十五分滿鐵本社に林、八田正副總裁を訪問した

滿洲國水運法規
審議委員會にて審議の上 一部は本月中に施行

曩に滿洲國の依囑を受けて岡本關東廳海務局長並に遞信省遞信局書記官安田丈助氏、遞信省事務官田倉八郎氏等愼重研究協議の結果成案せる世界に誇る滿洲國水運法規の成文を攜へ去る卅一日奉天を經て新京に出張中の岡本海務局長は三日朝八時大連驛着列車で歸連したが氏は左の如く語る

駐滿全權部を訪問し成文法規を傳達したが、全權部は移轉で多忙を極め小磯參謀長と談合した丈であるがまた改めて説明旁々行かねばならぬ事と思ふ、同法規は全く世界にも誇る自慢のものであるが滿洲國として不日審議委員會を組織し二日審議し法制局の手を經て發布される運びに至るであらうが、その中施行を急ぐ内河航業運法、船舶法等は本月中には審議を經て、他法規に先ち發布施行せらるゝ事になるものと推察される

蘇家屯醫院 來月開業

滿鐵地方部工事課が六月起工經費九萬圓で竣工を急いでゐた蘇家屯滿鐵醫院の新築工事はこの程竣成し二、三日中に衞生課に引繼がれることゝなつた、同醫院は内科、外科の兩科からなり十二月初旬開業の筈で、取敢ず醫員は奉天醫大から醫員應援に出張診療に當るが遠からず沿線の醫院から適任者を物色して院長その他を正式に決定の筈

滿洲國礦業會議

滿洲國實業部では全國の礦業會議を本月中旬迄に新京において開催し新礦業條例の制定と許可せる礦業區の規定違反者の礦區回收、國營

近く操業開始する奉天の造兵廠
社長に黑崎豫備中將

【東京三日發】豫て懸案中であつた舊奉天兵工廠を利用する株式會社奉天造兵廠は愈々設定される事となり社長黑崎延次郎氏は近く舊兵工廠の一部を運轉し滿洲國の治安維持上重要の兵器並に滿洲國の産業開發に必要なる資料等の製造を開始する模樣である、なほ同社長に決定した黑崎延次郎氏は豫備陸軍中將で長く陸軍科學研究所にあつた人で兵器に關しては一方の權威である、今回同工廠が民間に利用せらるゝに當つて社長となつた事は極めて適任であり滿洲今後の開發に非常に裨益するものと多大の注意を拂はれてゐる【寫眞は黑崎氏】

滿鐵豫算重役會議

滿鐵豫算重役會議は四日午前九時半より開會、地方部、技術局の分を査定して正午休憩したが、午後は更に殘つてゐる總務部、鐵道部、東京支社、奉天、哈爾濱事務所等を査定し四日で事業豫算を議了する筈、五日は營業收支豫算査定の大體方針について討議するが來週は林副總裁が大石橋および營口方面へ視察に赴くので重役會議はなく、その留守に經理部において收支豫算案を作成、來々週より重役會議に附するが、事業費中でも論議が多かつた費目で決定を延期されたものがあるので、これらを一括最終的決定をなすことにならう

滿鐵今後の使命は
半營利會社として重大となる
農耕移民は難事業
三日來連の 木村拓務參與官談

拓務參與官木村小左衞門氏は滿上巖需同三日着の旅客機で來連したが、林總務局長、大淵滿鐵理事、櫻内辰郎代議士等官民多數の出迎へを受け直に大連ヤマトホテルに投宿、同夜は滿鐵の招待宴に列した、四日は午前九時滿洲國外交部總長謝介石氏の訪問を受け、移民問題その他について約三十分間懇談を遂げ、林總務局長からは警備問題を聽き午前十時半ヤマトホテル發旅順に赴いた、應訪の記者に木村參與官は語る

ハルビンまでは行きたいと思つてゐるが歸京を急ぐ關係上どうなるか解らぬ、最初滿洲に來る豫定はなかつたが、内地旅行中突然京城で博文寺入佛式に參列の命を受けたのでこの機會にと思つて滿洲視察に來たのだ、何れにしても豫算の關係から十七八日ころまでには歸る、私は滿洲視察が決つた時、堤政務次官と電報で打合せて六日大連で落合ひ共に手分けして滿洲の移民計畫地等を視察し

移民計畫 の基礎の顏を造らうといふことになつてゐたが、堤次官が遲れるので兎に角自分一人で出來るだけ視察したいと思つてゐる、拓務省としては佳木斯に送つた五百名の武裝移民の第二次分五百名は來年度必ず送らねばならぬが、八年度豫算において移民費四百萬圓といふ相當多額の豫算を大藏省に要求してゐる、然し今も謝總長と話をしたのだが滿洲への農耕移民は相當の難事業で、何分生活程度の高い民土から生活程度の低い民土に移ることは農耕の原則からいつても難かしいことなのだ、日滿

稅制經濟 問題は拓務省でも大いに研究はしてゐるが、これもおいそれと實現は出來まい、然し早急に實現しないからといつて放任すべき問題でなくこれは是非實現させなければならぬ重大問題で、また實現出來ると思ふ、唯具體的問題になると難かしくなるのでこれを米價調節問題で見ると、今朝鮮から内地に八百萬石の米が移入されてゐるが、これが内地の米價を下落させる一大原因となつてゐるのだ、だからといつて朝鮮米の移入を禁止すれば朝鮮が困ることになることは明白なことで、こゝに實際問題として大きな困難に遭遇する、滿洲について見れば今硫安問題、昭和製鋼所問題があるがこれも滿洲、内地共にそれ〴〵の言分があるのだ、兎に角農作物にしろ、工業品にしろ日本が輸入を仰いでゐるものを諸所で作るやうにすることが理想なのだ、然し日滿經濟統制確立のうへからして内地の工業を

各資本家 個人の意思にのみ任してならないことは一般も認めてゐるし、結局これ等内地の工業なりあらゆる産業に政府として相當統制力を持つことが必要となるので現在政府としてもこの統制力を持つことに非常な苦心と努力を拂つてゐるのだ、それが中々おいそれと行かないので困つてゐるのだ、滿鐵の滿洲における使命も段々變つて來やう、卽ち滿鐵がやつてゐる政治的なものは外に移し半營利會社としての面目に立歸り、單に内地資本だけではなく外資の消化にも努めて更に積極的に滿洲の經濟開發に努めるべきであらう

日蘇關係 の推移については詳しくは知らないが私個人としては領土不可侵條約を結ぶことは必ずしも惡くはないと思ふ(寫眞は木村氏)

木村參與官旅程

木村拓務參與官は五日滿鐵を訪問七日朝大連發の急行で赴京の筈

礦區其他につき討議を行ふとなほ日本視察等に向ふ實業團長のうち奉天からは王家鼎氏が參加の模樣である【奉天電話】

前駐連米國領事

永らく大連駐在アメリカ領事として活躍せるトーマス氏は今回ギリシヤ國アテネ駐在領事に榮轉する事となり、後任前南京駐在領事ジヨン・シー・ビンセント氏も既に着任し事務引繼ぎも了したので四日午前十一時出帆大連丸にて離連赴任の途についた

張景惠氏一行 けさ門司到着

【門司四日發】大演習陪觀のため來朝の滿洲國軍政部總長張景惠氏侍從武官長張海鵬氏以下十七名は今朝離船うすりい丸で賑やかに來朝したが、恰も此日は滿洲へ繫ぐ大連航路船門司岸壁繋留第一日のことゝて關門有志總出で歡迎し、一行は老松公園の忠魂碑參拜後、午後一時同船で神戸へ向つた

うらる丸船客

【門司特電四日發】六日大連入港豫定のうらる丸の主なる船客諸氏大阪商船調度課長奈良橋茂三郎、滿洲國立吉林醫院長青木大勇、日本新聞聯合記者高橋勇、同升井芳平、日本製藥社員稻垣重信、鐵工業友野直二、同横田定男、藤垣昌平、辻俊夫、太田丙子郎、岡本濃、姫島一郎、室塚鍊二

人事

▲謝介石氏(滿洲國承認答禮專使)四日朝入港あめりか丸にて着連
▲勝田重直氏(同國外交部秘書官)外謝氏隨員十五名 同上
▲岡田朝太郎氏(明大早大教授)同上
▲小山貞知氏(滿鐵囑託)同上
▲揚松氏(臺灣臺北商業會理事)同上
▲秋田寅之助氏(實業家)同上
▲廣瀨重次郎氏(同志社主事)同上
▲九大劍道部滿洲遠征團一行(同上)
▲五泉賢三氏(辯護士)四日午前十時出帆ばいかる丸にて内地へ
▲伊手衛氏(賞勳局書記官)四日午前十一時出帆大連丸にて上海へ
▲艶野清一氏(同局)同上
▲原田清一氏(海軍中佐海軍省人事局員)同上
▲赤柴八重藏氏(陸軍歩兵中佐陸軍省人事局員)同上
▲トーマス氏(前大連駐在米國領事)同上
▲品川主計氏(滿洲國監察院[illegible])四日午前八時大連驛着來連
▲迫喜平次氏(同國人事處長)同上
▲結城清太郎氏(同國監察院總務處長)同上

市議選擧郵便物取扱數

大連市會議員の選擧に際し去月十一日から十一月一日まで市内各郵便局で取扱つた郵便物は八十八萬四千七百十七件、電報二千七百五十四件、合計八十八萬七千四百七十一件でこの内容は左の通りである

▲郵便物
局	件數
中央局	七五六、二三〇
各郵便所	二八、七一九
沙河口局	九九、七六八
計	八八四、七一七

▲電報
局	件數
中央局	二、七〇四
沙河口局	五〇
計	二、七五四

蛇角

黃金陛下の金塊百萬留、成程理窟はチヤンと合つてゐる。
◇
片岡藏相苦心二ケ年の苦心もこれでどうやら水の泡?は少々皮肉だがこれも語呂は合ふ。
◇
それは兎に角、此調子だと玉の浦には璣玉位はあるかも知れぬ。
◇
澁澤連中はさア出掛けた出掛けたり。
◇
玖馬では砂糖制限、ロシアでは砂糖饑饉、共に苦い問題。
◇
「選擧違犯事件」の火の手、ます〳〵燃え擴がる。
◇
慘劇の後の喜劇、歡喜の後の哀傷を味はふもの果して幾人?

滿蒙の戰慄 (143)
直木三十五作 淺枝次朗畫

再生 (六ノ一)

「おい」
一人の友人が、西城の肩を打つた。
「何んだい」
「聞いたぞ、畜生、うまくやつてやがらあ」
ひつきり無しに、電話が、か、つてゐたし、それと同じやうに、給仕が、行き廻つてゐた。
西城は
「何を?」
「何をつて、眉間の疵つて所だ」
(麗のことだな)
と、感じたが、原稿用紙へ、鉛筆を走らせながら
「疵が何うした」
「よし、白つぱくれやがつて、今夜、ひでえ目に、逢はしてやらあ」
机の右の一人が、左の眼の下を、やつつけるさ」
と、云つた。
「どんな事をしたら、又、一人、出來ちまわあ。奴つてやつは、馬鹿で、センチメンタルだから、下らん事に、感激しやがつていけれえや」
「閑話休題」
「何云つてやがる」
西城は、原稿をかき終ると、椅子を、向けて
「口惜しかつたら、戀をしろ」
「へんだ――戀をしたら、泣く子があらあ」
「そんな子がありやあ、讀むな」
「もう一人、欲しいんで、目をつけてた所だ」
「いやだ。醫者代で、文無しだ」
「奢れ」
「慾張り野郎」
「戀が、くれるだらう」
「あいつも、文無しだ。すつかりくれつちまつてれ」
「あれ――のめ〳〵してやがる」
「女の子つて、ヒーローを好むもんでれ」
「手前、ヒーローか」
「いゝぜ。メリケン食つて、グロツキトになつてる所なんざ」
「あの綴の女が、惚れてくれるんなら、首をとられてもいゝがな」
「首の代りに、鼻でもとられたら何うする」
「鼻の片方が無いなんてのも、シークだぞ」
「鼻は困るれ、耳が片方無いなんて、一寸、ダンチイだが」
「鼻の片方無い面つて、どんなのだらう」
一人が
「何云つてやがる。仕事をせんか」
と、怒鳴つて
「時に――とにかく、一度何、紹介する必要はあるれ」
「二三度の値打あるよ」
「と、外から見えるがれ。實は、まだ、何んでも無いんだ」
「とかなんとか――何云つてる、今時分になつて」
「往生際の惡い奴だな。金が無けりや、會計に行つて、實はこれ〳〵で、奢るから、かせつて云やあの爺かすよ」
「張り飛ばすだらう」
「そこを、彼女に見せると、又、惚れるかな」
「さあ、一つ、相談してみやう」
「姿なら、もつと、上手に、張り飛ばすわつて云ふだらう」
そんな事を云つて、笑つてゐる時、一人の友人が
「滿洲も、そろ〳〵下火かれ」
と、云つて、一枚の新聞を、西城の机の上へ置いて
「傷が癒つたれ」
と、顏をみた。西城は、新聞をとり上げた。

菊花薫る明治節
玉音朗かに勅語を賜ふ
豐明殿御祝宴

【東京三日發】十一月三日は明治大帝の御遺德を偲び奉る明治節、折柄非常時日本の擧國緊張の秋とて八千萬國民は一入意義深くこの記念日を迎へたが、この日宮中に於ては嚴かな御祭典、並に御佳例の佳き日を壽ぐ御宴を盛大に催させられた、御祭典は午前九時半から宮中賢所、皇靈殿神殿に於て宮內勅奏任官總代各一人參列の下に九條掌典長以下奉仕して執行、同十時天皇陛下には御束帶黃櫨染御袍の神々しき御裝ひで出御、懇ろに御拜あらせられた、御宴會は正午宮中豐明殿に於て催させられたこの御宴に召された人々は

東鄕、山本兩大勳位、齋藤首相以下各國務大臣、倉富平沼正副議長以下各樞密顧問官、各前官禮遇、陸海軍大將、德川、近衞、秋田補原貴衆兩院正副議長、公侯爵以下勅任待遇以上及伯子男爵の一部並にバツソムピエール白國大使はじめ各國大公使等約七百名何れも大禮服又は正裝或は通常禮服美々しく二重橋正門より自動車を連ねて參內、秩父宮高松宮兩殿下はじめ各皇族方にも御參內あらせられた、かくて諸員式部官の誘導で宴殿の本位に着けば、天皇陛下には陸軍樣式御正裝に大勳位菊花章頸飾御佩用、林式部長官、一木宮相前行、鈴木侍從長、奈良武官長以下御後に候し各皇族方供奉、更に大勳位以下前官禮遇以上並に各國大公使御後に隨ひ奉つて出御、謹肅最敬禮のうちに中央の御座に着かせ給ひ玉音朗かに勅語を賜ひ、齋藤首相は群臣を代表して白國大使は外國使臣を代表して恭しく奉答文を捧讀した、それより華やかなる御宴に移り、一同に酒饌を賜ひ、陛下にも御膳、御酒を召させられ、シヤンデリヤ輝かしき宴殿をこめて菊花の香りいや高く、この間陸軍々樂隊は麗しき舞曲に御興を添へ奉り、畏くも群臣和樂のうちに御宴を終へさせられ、陛下には二時近く天機麗しく入御一同けふの佳き日を心ゆくまで奉祝して退下した

金塊百萬金留を
旅順で掘り當てたか
露國太平洋艦隊會計艦の金
事實ならペ號は駄目

金塊暴騰で金屑買占め成金の續出する今日一百萬金留の金塊が旅順市中に埋沒されてゐる事が確認され去る九月十五日關東軍經理部の許可を得て發掘を初め三十一日その金庫を覆ひ隱せる鉛板を掘り當てたといふ夢のやうなニユースがある、場所は旅順黃金臺山麓海軍要港內鴻臚井記念碑附近、出願者は大連市櫻花臺六一番地の六佐々木德治氏、然もその金塊が發掘されると潜水王片岡弓八氏が二ケ年に亘り海底に求めたペトロ號のそれは單なる想像說に終るべしとさへいはれ興趣は正に百パーセントである

九ケ年間出願して
今秋九月發掘許可
黃金臺の山麓から
埋沒の痕跡をたぐる

話は日露戰役旅順開城當時にさかのぼる、露國太平洋艦隊にして旅順港內外に沈んだもの大小四十數隻中、過去二十四年間の鋼材その他積載品引揚げ作業中まだ一個の金塊も發見したものはない、これは露國艦隊が常に會計艦を伴ひゐる史實よりして奇怪である、然るに戰後旅順要港部に出入し沈沒艦の引揚げ作業に從事してゐた出願人佐々木德治氏は當時の要港部職員香田長次郎氏その他から會計艦の金は全部露國海軍當局が再擧を圖るため黃金山麓に沈めてゐると聞き込み當時の海軍無線電信所長小倉寅二大尉の發掘許可願を出した小倉大尉は

一、日露戰後露國殘務整理委員エーギリーフがペイント塗料その他の發掘なせる以後三前記個所の貴金類發掘を執拗に出願せる事實

二、時のバルチツク艦隊は七百萬金ルーブル積載せる會計艦ラヒモフ號隨行し居り然かもロジオノーフ艦長は戰後露都歸還後陛下に「お預りの貴金類は五十尋の深海に沈めたれば再び敵の利用する恐れなし」と奏上せる事實より見て太平洋艦隊にも當然會計艦隨し居る事を推定し得

三、その他口碑、類例、傳說、記錄等の詳細調査の結果

出願の內容を是認、大正十四年十一月願書を受理し佐世保鎭守府に移牒送達したのである、然るに該地は軍事上頗る重要なる個所なるため容易に許可指令なく以後九箇年間五回に亘り安藤要塞司令官外陸海軍高官八氏の贊同を得て政府

當局が産金奬勵を講じ居る際國家の寶庫を徒らに地中に放棄し居るは遺憾なりと出願を繰返せる結果去る九月十五日を以て現在同地使用の關東軍經理部長の名を以て出願者に掘鑿の許可があつたので出願者佐々木氏は直に掘鑿工事に着手、先づ記錄書に基づき東港々口寄りの百年を經過せるといふ大櫻の老木から一直線に黃金臺山麓に向つて平均一尺づゝを掘りながら作業を進めた、去る二十七日傳說中にある金塊への指針ワイヤ五十七米を發見、更に三十一日午後三時半地下一尺餘の地點より幅三尺五寸、長さ七尺、厚さ五寸乃至一尺、重量千三百斤の鉛の流し瀞及び鉛板を發見するに至つた、この鉛瀞こそ金塊の防銹、隱蔽のため使用した鉛板鑄込み作業の痕跡なりと佐々木氏始め立會者の歡喜と勇躍は早能百萬金留を獲得せるばかりであつた、目下引續き作業を進めつゝあるが果して問題の金塊に行き當るかどうかはこの數日の間に決まるものと見られてゐる【寫眞は出願者佐々木氏】

ペ號よりも確實だ
留守宅の話

市內櫻花臺六十一番地の自宅に金塊發見の幸運者といはれる佐々木德治氏を訪れる、家族は夫人と令孃との三人暮し、靜かな家庭だ、丁度當の佐々木氏は旅順の現場に行つて留守、夫人も外出中で令孃と玄關口で立話しをする

隨分以前から夢中になつて調べてゐました、もう九年前からです、私達にはよくわかりませんでしたが、潜水王の片岡さんが色々と噂に上つてゐる時も、俺の方が確實だと頑張つて調べてゐました、實際に手をつけたのは一ケ月前からで、先月二十七日に父が調べた文書の中にある金庫へのロープに達したとかで父はもう大喜びでした、今日旅順の方から知らせがあつたので飛んで行きましたが、私達には何だか夢のやうな話しで何もお話しすることが出來ません、何れ父が歸りましたら色々とお話しも出來ませう

勇士の遺骨歸國
謝介石氏が玉串捧奠

名譽の戰死をとげた大嶋德三郎少尉以下十四勇士の遺骨は三日午後四時四十五分大連驛着列車にて輸送指揮官加藤靜雄特務曹長以下戰友並に遺族等に捧げられて到着、公私機關代表者在鄉軍人各種團體その他市民多數の出迎へを受け一旦天神町常安寺に安置されたが四日午前十時出帆ばいかる丸にて內地への悲しい凱旋の途についた、この日慣例により午前八時半より埠頭待合所に於て神式に依り故十四勇士の慰靈祭を執行した、折柄あめりか丸にて歸着せる滿洲國外交總長謝介石總長は隨員と共に參拜、謝總長は靈前に參拜親しく玉串を捧奠して勇士の靈を慰む、次いで小川市長、在鄉軍人聯合分會長岩井少將其他の玉串奉獻あつて式を閉じ、乘船定刻午前十時ばいかる丸上甲板に安置せる故勇士の遺骨は官民多數の追悼裡に國の鎭めの喇叭もいと淋しく靜かに故國への船路についた【寫眞は遺骨の乘船】

忠靈塔前で
明治節祝賀
鄉軍は大會を開く

大連市官民合同の明治節祝賀會は三日午前十一時四十分から中央公園忠靈塔前に於て擧行された、參列者は八田滿鐵副總裁、森本地方法院長、井上民政署警務課長、高瀨中將、岩井、牧野兩少將始め三千人、先づ國旗掲揚後「君が代」を三唱、小川市長の式祝文朗讀あり、國旗を降下し八田滿鐵副總裁の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱し閉會したが、折柄の好天に惠まれて頗る盛會であつた、また大連在鄉軍人聯合分會では十一月三日明治節の佳節を卜し午前十時三十分から中央公園忠靈塔前に於て創立記念式および聯合分會大會を開催した、出席者は岩井分會長、高瀨聯隊區司令官以下一千名、高田少佐の開會の辭に次いで一同忠靈塔に禮拜、國旗を掲揚「君が代」を三唱後岩井分會長は

一、在鄉軍人に賜りたる勅語
二、本會設立の際賜りたる令旨
三、本會設立の趣旨

を朗讀、引續き聯合分會長として一場の訓示をなし、更に山村旅順支部長の訓示、來賓高柳師團長の挨拶あり、左の決議を爲し會歌を合唱し「天皇陛下」の萬歲を三唱して閉會したが右決議は總理大臣、陸軍、海軍、拓務、外務各省大臣、參謀次長、海軍々令部次長、貴族院、衆議院兩議長、在ジユネーヴ駐在日本全權等に建白送附された【寫眞上は官民合同祝賀會、下は聯合軍人分會總會】

決議

一、皇道主義に立脚し東洋平和を目標とする帝國の正義を蹂躙せる國際聯盟調查委員の偏見的報告は適確なる認識を有する吾人在滿鄉軍の斷じて默過し能はざる所なり

二、極東問題に關する聯盟の容喙的態度を監視し帝國の正義を無視するに於ては敢然脫退あつて國難に赴くの決意を有す

三、帝國四圍の情勢は擧國一致國難に當るべきの秋なり此時に際し苟も非國家的言動ある分子は斷乎として之を排擊し軍備の充實に努め國防能力を增進すべし

四、王道立國の滿洲國を支持し民衆共榮の樂土建設を援助する爲め相當兵力を增派し速に匪賊を剿滅せられんことを要望す

昭和七年十一月三日
帝國在鄉軍人會
大連市聯合分會大會

益々擴大する
市議選擧違反事件
檢察局は總出で活動

大連市會議員選擧違反事件はますます擴大し大連地方檢察局では三日の祭日に拘らず池內主席檢察官高井、井關兩檢察官以下書記總出動の下に午後一時から檢察官室にて司法、高等兩刑事を招集、搜查會議を開いた結果、前日に引續き上原、龜澤、森川の三氏に關する違反事件の搜査を開始、午後一時三十分井關檢察官は木梨書記以下數名の刑事を伴ひ大連署自動車「大三〇三號」にて上原氏の選擧事務員市內若狹町林田文助氏宅に乘り込み約一時間に亘る家宅搜查の結果、若干の證據品を押收、同時に林田氏を任意出頭の形式で同行井關檢察官の手で夕刻に至るまで取調べ歸宅を許した、一方大嶋檢察官事務取扱ひの一行は大タク「大一一二二號」で上原氏の選擧事務長渡久山辯護士事務所を襲ひ家宅搜査のうへ次いで聖德街一丁目上原氏の自宅に到り約一時間に亘る家宅搜查を行つて引揚げ、夜に入りて渡久山事務長を召喚取調べた

右は林田運動員が選擧二日前の九日夜朝鮮人有權者十餘名を連鎖街某仙館に招待饗應したとの疑ひによるもので、大連署高等係では招待を受けた鮮人有權者を片端しから召喚、小平部長李鮮人係の手で嚴重取調べた、更らに龜澤氏の違反事件に就ては某組合の事務員を使つて投票買收に奔走せしめたとの嫌疑あり、これら關係を召喚、池內檢察官の手で取調べを開始し森川氏の違反事件は高井檢察官の手で市內濱速町一一二番地朝子某を召喚、同人が樋田某外多數の有權者自宅の戶別訪問を行つたといふ自供に基き樋田某外七、八名を召喚夜に入るまで取調を續行しまた森川氏關係にて滿鐵沙河口工場員、大連機械事務員らも續々召喚取調を受けた四日は午前八時より上原、龜澤、森川、中川、田尻、高塚の各當落候補の違反事件に關し總括的搜查と參考への取調を續行してなり一方饗應事實を突き止むべく花柳界方面へ搜査の手を伸べてゐる

戰傷病兵
けさ來連
六日に內地へ

各地の衞戍病院に於て療養を續けてゐた戰傷病兵久保木中尉、森中尉以下四十二名は大谷一等軍醫以下の看護班員から手厚い看護を受け四日午前七時大連着列車で官民代表並に市民有志多數の出迎へを受けて到着直に市內大江町陸軍衞戍病院分院に收容、白衣につゝんだ傷ける身體をベツトに橫へ征途の各婦人團の人々から懇な心盡しの花束等に旅の疲れを慰められたが四日天潮丸にて天津より來連する四名の傷病兵と共に來る六日午前十時出帆の武昌丸にて金久保一等軍醫に附添はれて凱旋、廣島衞戍病院に於て療養するはずである

滿鐵社員二名の
死體發見さる
泰安鎭で名譽の殉職

滿鐵入電によれば泰安鎭で行方不明となつた滿鐵社員四名中、左の二名は二日午後死體となつて發見された

安東驛車掌　古川年定氏(四〇)
原籍　岡山縣淺口郡金光町大字大谷

鐵嶺驛　星原邦次氏(三四)
原籍　鹿兒島縣薩摩郡永和村

なほ古川、星原兩氏の殉職が正式に滿鐵々道部に入電あつたので鐵道部では直に兩氏の表彰その他について協議したが、兩氏には表彰規定による最高の表彰をなすと共に兩氏の遺骨所屬箇所への到着を待ち鐵道部葬を以て葬儀を執行するもの〻如くで、兩氏の略歷は左の如くである

古川年定氏　大正七年十一月滿鐵に入社驛夫となり安東驛勤務となる、昭和四年二月准職員となり五年十二月車掌を命ぜられ現在に至る

星原邦次氏　大正十年滿鐵入社鐵嶺驛驛手となる、昭和四年准職員となり七年五月操車方を命ぜられ今日に至る

福昌公司の
高木氏殉職

連絡を絕たれた克山の形勢は極めて憂慮されてゐたが二日漸く電話の連絡が復活するを得た、これによれば滿鐵社員は一同無事であつたが福昌公司の高木氏は殉職、小田組の稻荷、浦兩氏負傷、同小澤岡村の兩氏行方不明、滿電牧野氏負傷した、なほ克山城內では邦人三名戰死し負傷者多數の見込みだが詳細なほ判明せず現存邦人は旅團司令部に避難中だと

九大劍道軍
けふ來征
滿鐵軍と對戰

九州帝國大學劍道部里井三段以下十二名は柴田萬策教士、中村泰三監督に引率され滿鮮武者修行のため四日入港のあめりか丸で滿鐵高野範士、波多江教師その他多數關係者の出迎へを受けて着連、直に旅順戰蹟見學に赴旅、五日午後四時半より滿鐵大連道場に於いて滿鐵大連支部軍と對戰、六日午前九時發新京に向ひ七日滿洲國劍士、十一日は奉天に於いて試合を行ひ陸路朝鮮經由で歸校する、なほ四日午前兩軍首腦部集合の上交換されたメンバー左の如し【寫眞は九大軍一行】

▲九州帝大軍
大將　三段　里井孝三郎
副將　同　福島鶴太郎
同　川崎　巖
同　松村　謙三
二段　今村　滿雄
同　瀨尾　明治
同　黃田　謙介
同　西　康世
同　高尾　進
先鋒　同　三井　卓雄
補缺　三段　藤原　哲夫
二段　鈴木　憲輔

▲滿鐵大連支部軍
大將　四段　菅原惠三郎
副將　三段　篠原清一郎
同　荒川　好一
同　關　與志雄
二段　荻原　春海
同　志波辰和夫
初段　溝口　初芳
同　大森　政雄
同　樋口　實
先鋒　同　橫峰　榮二
補缺　三段　只熊　猛
同　山本　健一
二段　專當　龍起
同　加藤　一郎

本社勤續者表彰式

滿洲日報社では四日午後二時より營業局長室に於て十ケ年勤續者表彰式を行ひ細野編輯局長、佐賀營業局長立會ひの上左記七名に賞狀と記念品を贈呈した
新聞工場小泊正則、同小森豐肆、同于文江▲輪轉工場王成公▲印刷所採維廉、同陳學勤、同尹祚訓

西岡瑞穗個展

元旅順女學校に繪畫教育者として知られた西岡氏は長年の創作苦の自個四省を旅順より巴里に持込み三年間努力を重ね世界の尖端巴里のサロンに力作を發表する事數回歸朝後久々にて曾職の地にて十一月五、六七日三日間滿日講堂にて作品パリ滯在中の小品旅大スケツチ百數十點を以て展覽會を開催する

校正係　明石三郎
右十月三十一日限り退社致させ候間今後本社とは何等の關係無之候
昭和七年十一月四日
滿洲日報社

天氣豫報　五日
北西の風　晴一時曇
溫度降る
滿潮(午前二時三十分　午後二時五十五分)
干潮(午前九時三十分　午後九時)
暴風警戒　風强かるべし午後一時南滿洲附近を警戒す

各地氣溫　四日午前十一時
大連　一六　奉天　一二
旅順　一六　新京　九
營口　一四

けふの小洋相場(正午)
金百圓は一二七圓八五錢

當選御禮

今度市會議員選擧に際し幸ひ當選の光榮に浴する事を得ましたのは全く貴下の尊き一票の御蔭で有りまして、誠に感謝に耐えません。謹んで篤く御禮を申上げます。今後老骨益々市政に努力、御期待に副はん事を確く期して居ります。乍略儀不取敢紙上を以て右御挨拶を申上げます。

市會議員　石本鏆太郎
推薦者一同

當選御挨拶

地位なく、財なき全くの孤立無援、然も在連漸く四年半にして二回目の市會議員理想選擧戰に再出馬致しましたにも不拘相當の得票にて當選致しましたことは乍今更私儀としては感淚に咽ぶ次第であります之れ全く御同情ある大方諸賢の御後援の然らしめたものと深く拜謝致します
茲にその御厚志に報ひんが爲め將來必ず獨立獨步力强く改造途上にある吾が大連市政に精通致しますことを御誓ひ致しまして當選御禮の御挨拶に致します
誠恐惶頓首
十一月二日
芦刈末喜
大連市菖蒲町一〇九番地

御挨拶

今回の市議戰に際し皆々樣より深甚なる御同情と御援助を賜り深く感謝致して居ります。不幸惜敗御期待に副ひ得ませんでしたが今後共何卒御鞭撻の榮を得度茲に此段紙上御禮旁々御挨拶申上げます
昭和七年十一月四日
中川邦四郎

私儀九月上旬より病氣にて大連病院に入院中は皆々樣に一方ならぬ御迷惑を相懸け誠に申譯なく存じます、御蔭樣にて今回退院を許されましたので去る十一月一日より平常通り治療に從事致しますから倍舊の御愛顧を賜り度御願ひ申上ます。
整骨專門　若狹町二三二　山田行正　電話三七八九番

國難日本刀 (144)

高桑義生作 京極佳夕畫

善惡うら表(四)

「それでは、わたしの思ひ違ひかな」

と、瑠吉は思ひ直していつた。たかしく隱して、知つて知らぬ顔をするのは嫌だが、好んで藪をつゝくことはないと思ふのだつた。

お島の樣子はわからなかつた。氣がついてゐて知らぬふりを裝ふものか、それとも本當に知らずにゐるのか?

「いつぞや、こちら樣にも仰有られたのですよ。永年お客商賣をしてゐますから、何處かでお目にかゝつたのか知れませんね。でも、大勢のお客樣のお相手なものですから、ついこちらでは……」

とお島は、巧にいふのだつた。

「ま、そんな事だね、別嬪は違つたものだ。其方ぢや忘れてゐるが此方は、はつきり頭にきざみつけられて、忘れずにゐるといふわけだ。いゝ女には生れたいもの」

と清次がいつた。

お島は笑つて、立ち上つた。

清次も瑠吉も、立つた。

廊下の桐之進は、あわてゝ姿を隱した。

「御機嫌よう。お待ちして居りますよ」

とお島は、店先で二人を送つて茶の間に入ると、長火鉢の前に、腕組をしてゐた桐之進が、ぐいと刺すやうな視線をあびせた。

お島は、とかく思案に、ぼんやり立つてゐると、

「おい、何を考へてゐる?まあ座れ」

お島は横坐りに、白い二の腕を見せて、辛氣らしく、珊瑚のかんざしを拔いて、頭をかいた。

「どうだ、やつぱりあれだらう?」

お島は頭をふつた。

「向ふから名乘りかけたぢやないか。お前は、わざとはぐらかしたが、何故だ?變ぢやないか。まあそいつはいゝとして、何とか少し突ッ込んで、話の糸をほぐして見たらよささうなものだが……與力の女房らしくもない。少しはその邊の才覺がありさうな……またとない機會を棒にふつてしまつた……」

「だつて、あなた、違ひますよ、ありやあ……」

「いや……」

「役人の目なんて、だから不自由だといふんですよ。何でも色眼鏡をかける。もしも當人なら、あたしにわからないはずがない」

「だから、隱すのか?」

「嫌だよ、あなたはどうかしてゐる」

「フム、まあいゝ。仕事はゆつくりかゝれるのだ」

桐之進は強て爭はなかつた。そして、

「一本つけて貰はうか」

「あら、ずゐぶんですこと……」

とお島は色ッぽいやさ睨みを見せて、それをきつかけに腰を浮した。心のうちでは、瑠吉と名乘り合つて、當時の事や、それからの物語を、わけても生きてゐる上月弓之助の事を、聞きたい思ひでいつぱいなのであるが——。

「もう逃げるのかね、おかみ…」

「おほゝ……逃げるわけぢやございませんが、お支度を……」

「何だつたら、向うがいつでもといふなら、これからすぐ五十鈴の方へ送つて貰はうか」

と清次は瑠吉を見て

「滝崎随一の小松花魁、顔だけもおがんだら——どうせ泊りはしないのだから、それからこゝに引上げて、ゆつくりひと騒ぎ、騒がうぢやないか、なあ、大島屋」

出たらめな屋號で、瑠吉をよんだが、人間の心理は妙なもので、瑠吉がゐる大島神社——そこからの聯想で、その島が、現在目の前にゐるお島の島と結びついたのである。

瑠吉はうなづいた。無條件である。

「結構ですわ。どうぞ……」

とお島も調子をあはせた。

「では、氣の毒だが、さうして貰はうか」

興味をそゝる新しい催し

協和會館で開催する 新民謡獨唱名畫の夕

若きテナー阿部幸次氏と解説界の新人松本喜太郎氏を迎へた本社主催大連滿鐵社員倶樂部後援の「新民謡獨唱と名畫の夕」は愈々五日夜六時半から協和會館にて開催するが既報の如く阿部幸次氏は昨夏イタリーから歸朝した許りの新民謡流行小唄選手としていま賣出し中の新進花形で各社のレコードを通じて氏の明朗快活な歌曲は新小唄愛好者を魅了してゐる、而も今日までのアカデミックな音樂會に較べて今回は大衆に呼びかけた興味あるリサイタルとして協和會館のステージを賑はすべく大いに期待されてゐる、また大阪大橋座の主任解説者として松本喜太郎時代を築いた解説界の新人松本喜太郎氏の特別解説によりメトロ特作發聲映畫ノーマ・シアラー主演の「假染の唇」を上映し「新民謡獨唱と名畫の夕」の新しい催しを敢行することになつたものである、會費は一般一圓、本紙讀者及び倶樂部員は七十錢で五日午前九時から倶樂部事務所で前賣と共に座席券を交換する

帝國館を賃借し 南信次氏が經營

松竹再映映畫で開館

帝國館は來る十七日限りで中野常助氏との契約滿期となり日活映畫は日活館(元大日活)へ移ることゝなり、その後の帝國館經營者に關して映畫街に各種のデマが飛んでゐたが、最近に至り中央映畫館の經營者南信次氏が株式會社帝國館と賃貸契約をなしこれを經營するとの說が或る一部に有力に傳へられてゐたところ、遂に三日南信次氏が株式會社帝國館側の多田氏と連れ立つて帝國館の倉重支配人を訪れて正式に挨拶をなし愈々これを裏書した

契約に至るまでの經緯については未だ詳細不明であるが、本社調査による契約の大體内容は數日前南氏との間に賃貸の假契約をなし、三日愈々同氏の經營が確定したもので來る廿二日より本契約をなし、保證金は賃貸料滿一ケ年間の期限で來る十五日の二ケ月分で、その代り南氏が設備する機械その他を以て保證をなし現在の中野氏の契約(保證金一萬圓)よりは餘程有利な條件である如く傳へられてゐるなほ開館は來る廿日頃の豫定で上映々畫は松竹再映物と見られ、一部には東活映畫說あるも長氏はこれを全く否定してゐるから結局松竹のセカンド館として大衆興行をする計畫らしく、この松竹セカンド館計畫はプレイガイドの峰島氏も目下上阪運動中と見られ、南氏が來る六日頃上阪して峰島氏と共に松竹大阪支店にて會見するものゝ如く、この間南氏と峰島氏との間に提携說あるも眞相なほ不明である

理智、明眸に輝くノーマ・シアラー嬢が名演技を示してアカデミー賞を獲得した名畫でジョージ・フイツモーリス監督のメトロ特作發聲映畫(協和會館封切)

日活館の開館披露

日活プロ決る

帝國館に上映中の日活映畫館は今月中旬より中野常助氏直營にて日活館(元大日活)に移ることゝなり、目下これが準備に忙殺されてゐるが、いよく來る十八日を期して華々しく開館することに確定し、改名開館披露興行の日活映畫は左の如く内定した

▲第一週 「薩摩飛脚」と「勝つて歸れ」
▲第二週 「浪人しぐれ」「朝風の海を唄ふ」
▲第三週 「白衣の饗宴」「さかく女と言ふものは」
▲第四週 「一九三二年の母」「江戸染子娃」

なほ第一、二週は混合プロとすべく第一週はパ社映畫「進めオリムピック」第二週はパ社映畫「君とひとゝき」を豫定して目下交渉中であると

新民謡と名畫の夕
讀者優待割引券
この券持參者に限り七十錢
主催 滿洲日報社

新民謡と名畫の夕
讀者優待割引券
この券持參者に限り七十錢
主催 滿洲日報社

盛況の女雲月

二日目讀物

大連劇場に出演の女浪曲界の花形天中軒女雲月一行は三日夜初日の蓋をあけたが、大衆的料金が果然客足をよび大入滿員の盛況を呈し女雲月をはじめ君代、君奴の三名手の熱演が好評を博してゐるが、今夜の讀物は左の如くである

神崎東下り天中軒月榮▲橘太鼓一風亭雪千代▲乃木將軍大和白菊▲齋藤内藏之助長崎喜代子▲文七元結妻川君奴▲佐原喜三郎妻川君代▲無筆の出世天中軒女雲月

けふの放送

大連 JQAK 十一月四日

▲午後六時十分 ニュース
▲講話「映畫と書籍」青山拾男(以下内地中繼)
▲放送舞臺劇(七時)「花の東京」(原作菊地寛、脚色畑本秋一)あい(夏川靜江)静雄(小杉勇)エマ子(佐藤美子)順三(田村道美)良一(秦村次郎)美代子(市川春代)山崎(杉山正三)まろさん(石川均)母(藤波ゆかり)女給(市川春代)其の他刑事及村の男、獨唱淡谷規子、音樂指揮近藤晋一、演出指揮畑本秋一
▲長唄(七時四十五分)「勸進帳」(麴町下二番町長唄邦樂學校演奏所より)(問答入)唄芳村伊十郎、同富士田新藏、同芳村伊久四郎、同松島庄三九、同芳村辰三郎、同伊千十郎、三味線杵屋榮造、同榮左衛門、同榮左久、同榮之助、同榮美藏、上調子杵屋和吉、笛住田多藏、小鼓望月朴齋、同福原鶴三郎、同百之助、同望月太左衛門、太鼓同長太郎(以下大連放送局より)
▲小唄(八時三十一分)(一)初雪(二)腹のたつ時(三)主さん(四)與作(五)ごうぞかなへて(六)木枯(七)かしが、唄大檢小ゑん、三味線同おせん、同替手田村てる枝
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

滿洲國噸税 現在高率に過ぐ
改正に對する一般の要望

滿洲國の船舶に對する噸税は過般の對外聲明により完全に支那の手より滿洲國に歸屬することゝなりその制度に就ては從來の支那の制度卽ち四ケ月間有效、登簿噸數當り銀四匁の率を踏襲し來つてゐるが元來支那の噸税は一港に對し噸税を納入すればその期間中他の四十五開港場に於て免除され、滿洲國獨立後と雖も滿洲國内の五開港を失つたのみで、その制度に於ては變りないが一方滿洲國に於ては營口、安東、龍井村、ハルビンの五海港（大連港は無税）にしか通用せず而も龍井村、ハルビンと安東、營口の如き地理的に見て全然關係なく從つて從來の支那の制度を踏襲し來れる結果は支那の率と比較して著るしい不均衡を來し居り、海運當業者間に於てはこれが合理的解決が焦眉の急務として要望されつゝあり、滿洲國當局に於てもその不均衡の是正に對して考慮中のものゝ如くであるが、これに關して當業者方面の意向を聞くに日本の噸税制度に倣ひ一港一回登簿噸數一噸に付金四錢、これを三港分前納すれば一ケ年間有效なりとの制に改變すべしとの意見が有力に行はれてゐる、尤も日本の制度によれば納當金七錢となつてをり、七錢は舊率金五錢に燈臺敷良税二錢を附加されたもので從來の税率は五錢にして、一面より觀測すれば右の四錢といふのも日本に於ける事情と比較すれば日本は一ケ年中結氷を見ざるも滿洲國の開港場は冬期半ケ年間は結氷し殆ど使用されず從つて尙高率に過ぐるも滿洲國の現狀よりすれば當業者としても幾分の犧牲は止むを得ず四錢程度に引下が妥當であるとの論が行はれてゐる

輸組主催見本市 明春大連に開催
博覽會と前後して

來夏大連における市主催の日滿博覽會開催は永らく沈滯した大連市を振興するものとして各方面より多大の期待を持たれてゐるが一方滿洲の年中行事となつた輸入組合主催の滿洲見本市も博覽會と前後して大連において開催し新興滿洲國の門戸として大々的大連の發展を計畫されてゐる、卽ち來夏の博覽會は未曾有の大規模なものであり從つて出品も日滿經濟上重要なる意義を有すべくあらゆる方面を網羅されることゝなるが一方商取引專門の見本市も出品者及び來會者の便宜上からも同地開催が都合よく、これが爲め見本市も博覽會に前後して大連に開催されるものと觀られ關係方面では既に着々準備を進めてゐる

中間都市輸組の金融抑制論起る
注目すべき金融環境

滿洲各地輸入組合は創設以來、大體において健全なる發達を遂げて來たが、三、四中間都市組合ではその主要業務たる金融において消化不良的症狀の顯著なるものあり滿鐵當局においてもこの傾向は四圍の經濟的環境並に組合員拂込額の増加に伴なふ貸付限度の擴張を想到する時充分腐心を要するものとして、一兩年前より專ら積極第一主義を採つて來たが、今やその懸念は右に擧げた二つの原因により益々現實的なものとなつて來た一面滿洲經濟界の新動向より察するとき大連、奉天など地元大都市商人や内地當業者の中間都市に對する直接進出開拓の傾向が多分に行はれんとする一方伸縮性を缺ぐ中間都市の經濟狀勢に鑑み、この際中間組合の金融方針につき何らかの具體的對應策樹立の必要が痛感されるに至つた、而してその方策としては先づ全滿組合の劃一主義を打破し比較的に貸付の固定化乃至飽滿狀態にある中間組合につき堅實な發展を遂げつゝある組合と必ずしも歩調を共にせざるやう掣肘し、その貸力に應ずる範圍内において堅實を專らとする貸付並に回收を爲すやう善處すべきものと論ぜられてゐる、而してこれがためには滿鐵當局並に輸組聯合會において今少し徹底する監査統制を行ふ傍ら中間組合理事の自制が大いに要求されると共に、場合によつては組合員の保證關係をより堅實ならしむるため、商團組織よりは保證制度に改めた方が新情勢に添ひ進歩的で且實效的なものだとの意見も相當行はれてをり ともかく中間組合の内面的自彊問題は輸組當面の緊要事項として關係方面の關心を集めつゝある

五品市場
十月中出來高

大連五品取引所における十月中の取引高は株式部定期二萬九千七百七十枚、延二萬九千五百八十枚、[illegible]六千八百枚合計六萬六千百五十枚でこれを九月中の出來高に比較すると四萬一千二百枚の減少を示し商品部の出來高は麻袋百七十五萬四千枚、綿糸定期二千九百四十梱、延百二十五梱、綿布延百九十俵で手數料收入は五千六百六十四圓、十月末現在の手數料累計は三萬五千七百七十六圓となつてゐる

石炭共販會社と飽迄協調の態度
滿鐵の方針は少しも變らぬ
東京に於て 十河理事語る

◇…滿鐵が、なぜ石炭共同販賣會社に參加しなかつたか。これには相當の理由がある。滿鐵は單なる營利會社ではない。國家的使命を有する事業會社である事は今更いふまでもない。

◇…それ故に、一部資本家のみに利益といふ事よりも一般國民の消費經濟に就て、相當に考慮しなければならぬ。卽ち資本家の利益のみを圖るといふ事より、一般國民の幸福についても充分の考慮を拂はねばならぬ。換言すれば消費者の利益を念頭において事業を進めて行かねばならぬ。

◇…然し乍ら、滿鐵がひとり横暴なる行爲をする譯でない。滿鐵としては出來る限り、石炭共同販賣會社と提携協調して最も公平なる販賣方法を採る考へである。

◇…滿鐵が社外の炭坑業者と協調を保つて、極めて公平なる販賣政策を採つてゐる事は、海運協定を今日に至るまで尊重してゐる事によつても明らかである。

◇…滿鐵は從來に於ても、今日に於ても、日本内地の炭坑業者とよく協調を保つて、要するに「日滿相互扶助の經濟」の原則によつて事業を進めて來たのである。

◇…兎に角、石炭問題の解決は日滿經濟連絡の前提をなすものであり、各種の事業の標準をなすものであるから、出來る丈け愼重に問題を考察し、有力なる朝野の意見をも參考にして、萬全を期したいと、目下折角努力中である。

◇…滿鐵は、今日まで石炭聯合會に參加してゐなかつたけれども外に在つて石炭聯合會と極めて密接な協調を保つて來て居る故に實際上に於ては石炭聯合會のメムバーになつてゐるのと少しも變りがない。それ程に圓滑に提携して來てゐる。

◇…從つて今度日本内地に於て石炭販賣に關する統制會社が設立せられ、それが健全なる發達をなす事は、滿鐵としても希望して已まないのみならず、その成立の曉には、前述の趣旨に則つて、石炭聯合會に對すると同樣、緊密なる連絡を圖るつもりである。

◇…昨日、拓務省に於て永井拓相、堤、河田兩次官など〻懇談して、日滿兩國經濟が相互に扶助し提携して行く方法に就いても腹藏なき意見の交換をなした次第である。日滿相互扶助の經濟を確立する事に就ても政府の意嚮を充分に承つたが、その事については他日ゆつくり申上げる事にしたい

東京株式暴落

【東京四日發】東京株式市場株安は各砂糖會社の税金が安過ぎるので課税引上げの機運が動て居り之を反映して砂糖株（東短明糖五圓安日糖新二圓十錢安）暴落に他も低落した

日米爲替保合

【ニユーヨーク三日發】米日爲替は二十一弗三十七仙で保合引際氣配ボンヤリ

滿鐵線特産輸送愈本調子に入る
當事者は貨車繰りに懸命

滿鐵線の特産輸送は愈々本調子となり二十八日の全線使用貨車數一千八百六十二車で本年の最高記錄を作り續いて三十日には更にこれを突破すること三十三車の一千八百九十五車に達した結果早くも貨車の拂底を來し一日の如きは混保大豆のみにても全線を通じて約四百車を抑留するに至つたので、滿鐵當局は貨車の遣り繰りに頗る懊惱してゐる、因に滿鐵が南行貨物輸送に使用する列車は蘇家屯大石橋間十七列車、鐵嶺蘇家屯間九列車撫順十列車である

鮮銀券膨脹
發行八千九百萬

十月末現在鮮銀券發行高は八千九百七十七萬三千十七圓八十錢にして七百五十一萬九千七百六圓の增發で前年同月に比すれば一千三百二十七萬八千二百四十七圓の大增發であるが膨脹原因は物價高と滿洲關係資金及び先高見越しによる商品の思惑資金等需要增加による

臺灣青果物逐年增加しやう
揚松臺北商業會囑託談

臺灣總督府囑託臺北商業會理事揚松氏は四日朝入港あめりか丸にて來連したが氏は語る

滿洲國も建設され吾が國も正式承認せる今日日滿兩國は將來益々密接ならんとしてゐるが、臺灣に於いても今度大連汽船の臺滿定期連絡船の就航を機として從來より一層熱帶青果物及び熱帶植物の移輸出を圖らんとしてゐるので、その視察がてら約一ケ月の豫定で來たのである、滿洲は從來よりパイナツプルの罐詰の需要は相當多くその他熱帶果物の消費も相當の量に達してゐるが、主として廣東邊りから供給を受けてゐた樣に聞いてゐる、然し今後臺灣大連間の定期船が就航すればより安い運賃と最も好條件にある安價な臺灣青果物はどしどし輸出せられる事と思ひ、また充分他品と競爭し得る自信をもつてゐるので、この方面の調査並びに打合せを行ひたいと考へてゐる

十九銀行休業

【レノ一日發】ネヴアダ州の銀行休業は更に七行を増し全州二十五の銀行中十九行迄扉を鎖しレノ市の銀行三行中二行迄休業するに至つた

大連窯業決算
利益金繰越し

大連窯業會社では去月卅一日總會を開き本年度上半期決算の承認を求めたが當期の業績をみるに總收入十五萬一千三百餘圓に對し總支出十三萬八千百餘圓、差引一萬三千餘圓の純益金を計上しこれを諸積立に九千七百圓、役員賞與に一千三百圓を當て二千百二十九圓を次期に繰越した

會議所臨時總會

大連商工會議所では四日午後二時から臨時總會を開き左記の件を附議した

一、昭和七年度基本金並に職員退職給與基金豫算變更の件
二、常議員一名補缺選擧の件

鮮銀總裁來連

鮮銀行加藤總裁は五日午後七時五十分「はと號」にて來連七日朝飛行機にて歸鮮する豫定である

黄塵

◇…日支紛爭の結果南支那向輸出は著るしく停頓してゐたが昨今漸次好轉復舊の傾向顯著となり上海および漢口を中心とする長江筋への輸出量は平年に比し完全に五割を占むるに至つたさうだ。

◇…更に天津方面向輸出の如きも可なり增加の傾向を辿るなどわが對支貿易が最近著るしく改善されて來たことは頗る注目すべき現象である。

◇…一方滿洲向輸出はますます好調を示し殊に最近は銀高の好影響を受け非常な活況を呈してゐる。

◇…對外貿易全體からみれば大した好轉を示したといふ程度ではないが部分的にも貿易の改善を示しつゝあることは喜ばしい現象である。

日本の燃料問題
輸入石炭三十六割增
斯界に及す撫順炭の影響

商工大臣 中島久萬吉

燃料は云ふ迄もなく、產業上國防上缺くべからざるものである、燃料として近時重要な位置を占めてゐるものは、石油その他の液體燃料と石炭であるが、先づ產業上國防上絕對必要なものは石油で、石油の現狀を觀察すると、昭和六年には二百五十萬石の需要額に對し、八割五分は海外からの輸入品に依つて充足されたのである、石油の輸入のため年々九千萬圓の支拂を日本は外國にしてゐる。

石油の需要額は近年非常な勢ひを以て增加しつゝある、その增加率は最近十年間に四倍になつてゐる、この調子は將來も相當持續するだらうと思はれるが、我國の石油產出高は目覺ましい增加を示さない、十年前は需要額の六割を充してゐたが、今ではその一割五分である、石油の自給關係は將來益々憂ふべきものがある、我が國の石油資源は諸外國に較べて豐富と云へない迄も、その採掘努力の如何に依つては必ずしも悲觀するに當らないと思ふのである、國内に油田を持つことは國防上重要であつて、石油の開發に對しては政府も盡力し、獎勵金まで出してゐるのであるが、その金額の小なる爲めか、今日なほ十分な成績を見られないのは遺憾である。

◇

我が國の石油資源の分布狀態から見て、存分にこれを採る事が出來るやうになつても、將來それで自給自足出來やうとは考へられない、民間輸入も我が意の如くならざるに至るに於いては、國内の資源開發と共に、海外に於ける石油資源を確保開發に官民一致して盡力すべきである、現在ボルネオの油田開拓に盡されてゐる民間會社があるが、これ等は大に意を强うするに足るものである、北樺太の石油資源は、我が國にとつて海外資源としては唯一のもので、これに對しては官民協力してその成果を擧げしめなければならない、現在の油田オハのみでも、年二十三萬石は採れるのである、これは内地の產油總額と同額である、北樺太にはこの外に、三億五千萬坪の土地が開發に殘されてゐるが、その試驗期間は、向ふ四ケ年の短期間になつてゐるので、政府はこれを急がせてゐる次第である。

海外資源と共に、石油代用原料の問題、卽ち石炭、高粱、馬鈴薯等から石油をとる石油代用原料の工業を盛大にせしめたい、既に撫順炭礦では海軍の力を借りて、石炭から年產五萬石の重油を採つて居るが、液體燃料の解決はこの方面から致さるべきだと考へる、近來發動機船漁業の發達、自動車の發達、各種工業發達の結果、石油の需要は增加し、その爲めに國内に燃料會社が續出し、これに外國の會社が加はつて、極東はこの種の會社の猛烈な競爭場と化した觀がある、その結果として揮發油の如きは、一時底なしの安價狀態に陷つたこともある、同業者間の販路統一が表面の問題となりつゝあるのである。

◇

石炭は年々輸出減少し、反對に輸入が增加し、昭和六年には三千萬噸の需要總額に對して二百七十萬噸を輸入して居る、而して昨年の輸出は百五十萬噸である、十年前の數字と比較するに、その需要は一割を增加し、輸出は六割減じ輸入は實に三十六割增加してゐる、日本の内地埋藏量は百六十五億噸と云はれて居るが、イギリスの千三百億噸、ドイツの二千三百億噸に比すれば非常に貧弱である、石炭は直接燃料とし、液體燃料の原料とし、化學工業の原料として、益々需要の增加するものである、現に燃みつゝある滿洲、山東、北樺太石炭開發以外に、列强の手をつけてゐない海外の資源にも、先んじて手を延ばす必要がある、本年の春、滿洲炭輸入問題で紛擾が發生した事があるが、近き將來に於て、撫順炭と内地炭の調和問題は、何かの形で解決しなければならないと思ふ、これは獨り石炭のみの問題でなく、日滿經濟の大問題の一部分なのである。

特產 市況（四日）
邦商賣に大豆弱保合

今朝の定期は大豆奧地安邦商賣に弱保合を示し、豆粕又大豆安に弱保合、豆油は閑散乍ら弱保合を辿り高粱は各品安に邦商賣あり軟調に引けた

◇現物前場（銀建）

▲大豆（軟弱）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	五二一〇	五二一〇	五〇八〇	五〇八〇
十二月末	五〇八〇	五〇八〇	五〇八〇	五〇六〇
一月末	五〇八〇	五〇七〇	五〇八〇	五〇六〇
二月末	五〇七〇	五一〇〇	五〇七〇	五〇九〇
三月末	五一一〇	五一五〇	五一一〇	五一四〇
出來高	二百二十九車			

▲普通大豆出來不申

▲豆粕（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一六〇〇	一六〇〇	一五九五	一五九五
十二月限	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇
一月限	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇
二月限	一六〇五	一六〇五	一六〇〇	一六〇〇
出來高	三萬一千枚			

▲豆油（弱保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一三八〇	一三八〇	一三八〇	一三八〇
十二月限	一三九五	一三九五	一三九〇	一三九〇
出來高	一千五百箱			

▲高粱（軟弱）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	二四四〇	二四四〇	二四四〇	二四四〇
十二月末	二四一〇	二四一〇	二四〇〇	二四〇〇
一月末	二三五〇	二三五〇	二三五〇	二三五〇
二月末	二三三〇	二三三〇	二三三〇	二三三〇
三月末	二三六〇	二三六〇	二三六〇	二三六〇
出來高	四十二車			

▲包米出來不申

◇定期前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	五一〇〇	五一二〇
普通大豆（袋物）	五〇五〇	五〇五〇
出來高	八十車	
豆粕	一六〇〇	一五九五
出來高	一萬八千枚	
豆油	一三八五	一三八〇
出來高	二千八百函	
高粱	二三九〇	二三九〇
出來高	八車	
包米	三〇五〇	三〇五〇
出來高	八車	

定期喰合高（三日帳入）

		前日對比（△印減）
大豆	四五〇三車	八〇車
高粱	八六三車	△七車
豆粕	五二八千枚	二千枚
豆油	八四〇百箱	一五百箱

錢鈔
當市反落 爲替弱含み

今朝日米爲替は第一回十六分の一、第二三回同事と小安を入れし爲當市は買疲れ上げ過ぎのため一圓内外反落した、米日同事の二十一弗二十五仙、海外銀塊は倫敦近物十六分の一安、同先物八分の一高、紐育八分の一安、孟買十六分の三安にて標金[illegible]り、漲申七十四兩四五〇、漲煙七十一兩八二五、大洋九十七圓五十錢

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一〇四六六	一〇四〇〇	一〇四二五	一〇四四〇

出來高 期近五百七十一萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一〇四六五	一一三二〇	一〇八〇五
十時	一〇四四四	一一二六〇	一〇七五〇
十一時	一〇四六〇	一一三四五	一〇八〇〇
十二時	一〇四八〇	一一三三〇	一〇八三五

出來高（銀對金二十四萬七千圓 銀對洋八萬八千圓）

株式
内地株續落 當市も軟弱

休日明けの北濱定期の前場寄付は大株一圓二十錢安、大新一圓四十錢安、鐘紡一圓七十錢安、鐘新一圓四十錢安と低落したが引は大株七十錢高、大新一圓二十錢高、鐘紡三十錢高と引締り東京短期の東新は二圓三十錢安、當市五品は定期五、六十錢安、延六、七十錢安、錢鈔三十錢安に引け東新は二圓三十錢安に引けた

◇前場

▲定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
新豆（寄）	二四四	二四二
新豆（引）	一	一
滿興（寄）	一	二四三
滿興（引）	一	二四三

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品（寄）	二二五			二二五
五品（中）	二二五			二二五
五品（引）	二二五			二二五
五品	二二五	二三六	二二五	二三六
新豆	二四一	二四一	二四一	二四一
錢鈔	一	一	一	一
氷新	二七〇	二七〇	二七〇	二七〇
大新	一	一	一	一
東新	一七四四	一七四七	一七四四	一七四四
鐘新	一	一	一	一
滿鐵新	一	一	一	一
滿興	寄二四九	一	引二四八	
代行	寄		引二四三	

▲爲替及受渡日歩

株

休日明けの北濱定期の寄は諸株共一圓二十錢乃至一圓七十七錢安と軟弱を呈し▲東新も一圓四五十錢安の百七三圓至ら續落を入れ安の首め新豆錢鈔も二四十錢安▲當市は五品の五、六十錢安[illegible]

銀

相場に無理は結局通らぬもので▲先般來マバラの度を過ごした買付振りは今やスッカリ清算されてしまつた▲卽ち今朝の如きも爲替は同事乃至十六分の一安なんだが▲當市はマバラの買過ぎで上げ過ぎてゐる折柄、買疲れが出てしまつたので▲保合ふところが、九十五錢安に寄付き結局一圓内外安を浮動した▲然し相場としては各材料の採算に大體出合ひ、無理のないところで、この邊で一寸落着いてよいところだ

豆

けさの定期は大豆は奧地安を入れ新高賣あり弱保合に引け、豆粕も亦大豆の不勢を眺めて伸びず弱保合に引け▲豆油は閑散乍ら弱保合商狀を辿り高粱は各品一齊安を眺めて邦商の賣物あり軟調に引けた▲特產殊に大豆、豆粕等の南支輸出は全然なく殊に豆粕の如き實に慘澹たるもの▲内地の需要は農村の窮迫に振はず南支は關税徵收で杜絶し十月中の生產高の如き前年のそれに比し僅かに二割氣息えん〳〵

糸

米棉情報は政府豫想發表待ちで市況は落付きた相場も區々とあり▲現物變らず先物一二安を示し大阪三品は先物頭重さも當中物は二圓摘み高を入れたが當市は氣乘薄閑散▲麻袋は產地市況堅りと期近物には輸入商筋の煎れも現はれたるため三十九錢と暴騰した▲本年は特產の出廻り遲延のため麻袋の需要もおくれてゐるが本月に入り弗々奧地も買氣をみせ出して來たのでそろ〳〵面白くなりそうだ

商品
綿糸軟り 麻袋暴騰

●麻袋 產地情報は休日前に比し鐵四分の一高青十六分の一高日印爲替二分の一安米日同事當市は期近物には輸入商筋の煎れもの現はれて昂騰した然し先限には氣乘薄である現物三十九錢丁、當限三十九錢丁、十二月三十八錢五厘、一二月三十八錢五厘、三月三十八錢四厘見當

銘柄	約定期	約定値段	枚數
鐵筋	十二月限	三九〇〇	三〇

出來高 三萬枚

●綿糸 休日通算米棉同事印棉一三留比安米日同事大阪三品は當中限同事先限一圓方安と寄付き跡當中限一圓八十錢乃至二圓四十錢高當限三十錢乃至一圓六十七錢高と見直した、當市は薄商内であつた

銘柄	約定期	約定値段	梱數
福助	二月限	一九三一	三〇
同	三月限	一九一四〇	五〇

出來高 八十梱

滿鐵株（保合）

▲東短前場 滿鐵新株 三十九圓十錢
▲大阪現物 滿鐵舊株 五十三圓九十錢

株式出來高（二日）

定期	延	計	聯合	早受	金額	早渡	金物
一、八八〇枚	一、五三〇枚	二、九五八〇枚	一、九九〇枚	一〇枚	二四五圓	一、七六〇枚	三九、九九〇圓

銘柄	爲替	受渡	代渡	代引	日歩
五品	二三五	六〇	一〇		三
新豆	二四二	二三〇	二〇〇		三
錢鈔	二九〇	五〇	二一〇		三
氷新	二三〇	一	一		無
大新	七二〇	四〇	五〇		三
東新	一七四〇	二一〇	一〇〇		三
鐘新	一〇八〇	一	一〇〇		三
滿鐵新	二九五	二〇	二〇		三

上海爲替情報

【上海四日發】材料期待はづれのため標金上離れの寄り志豐氷、輿餘の買ひありて人氣よかりしも、あと高値に恒興の賣物現はれ頭抑へられ弗は滙豐、麥加利など買ひ白耳義及び投機筋賣り合ひや、弱保合、圓は大連筋七十一兩丁度まで賣りあと安値買に廻り七十一兩四分の一まで買ひし外、商館筋の小口デマンドも弗々ありしため銀行一般七十一、四分の一賣り唱へとなりて落着く

上海標金 遲着

各地特產發送高

	開原		公主嶺
大豆	二〇車	大豆	八車
高粱	二車	高粱	一
豆粕	一	豆粕	一車
雜穀	一一車	雜穀	一

	四平街		新京
大豆	六六車	大豆	一二車
高粱	一車	高粱	一
豆粕	一	豆粕	五車
雜穀	二車	雜穀	三三車

大連埠頭到着高

大豆	三一五車
高粱	一車
豆粕	八車
雜穀	二三車

市場電報（四日）

銀塊及爲替

品目	値
倫敦銀塊	十八片八分一
同 先物	十八片四分一
紐育銀塊	二十七仙〇分〇
孟買銀塊	五六留比十分七
スチール	三十二弗三分一
アナコンダ	八弗四分一
英米爲替	三弗三十一仙三分一
米日爲替	二十一弗三十仙
米支爲替	二十九弗八分七

神戸日米

回	値
第一回	二十一弗八分一
第二回	二十一弗八分一
第三回	二十一弗八分一

棉花

●米棉

限月	値
現物	六仙一〇
十二月	六仙〇〇
一月	六仙〇四
三月	六仙一三
五月	六仙二五
七月	六仙三六
十月	六仙五一

●印棉

品目	値
ベンゴール	一八五留比
ブローチ	二〇八留比
オムラ	一六六留比

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	七六〇〇	七六七〇
大新	七五〇〇	七五一〇
鐘紡	二二四〇	二二四〇
鐘新	一〇五二〇	一〇五〇〇
日糖	一	一
郵船	七〇〇	七〇八〇
滿鐵	一	一
滿鐵新	一	一
東株	一	一
東新	一七四〇	一七九〇
（短期）	大新	東新
寄値	七七二〇	一七五〇
引値	七六一〇	一七四〇
高値	七七三〇	一七四七
安値	七七四〇	一七三五

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
▲第一回		
東株	一六〇四	一六〇〇
東新	一七四〇	一七四〇
▲第二回		

銘柄		寄	引
東株		一六七〇	一六七〇
東新		一七四〇	一七三〇
五品	當	二二五〇	二二五〇
	中	二二四〇	二二四〇
	先	二二三〇	二二三〇
豆新	當	二三〇〇	二三〇〇
	中	二三〇〇	二三〇〇
	先	二三三〇	二三一〇
（短期）東新滿鐵新	寄値	一七六九	二九一〇
	引値	一七五〇	二九二〇
	高値	一七五〇	二九一〇
	安値	一七二八〇	二九〇〇

大阪期米

限	前場寄	前場引
當限	二二四	二二四八
中限	二二六〇	二二六四
先限	二三三〇	二三〇七

神戸期米

限	前場寄	前場引
當限	二二四五	二二四三
中限	二二六五	二二六五
先限	二二三三	二二三三

東京期米

限	前場寄	前場引
當限	二二六	二二五
中限	二二四	二二六五

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
十一月	一九二五〇	一九四九〇
十二月	一九四九〇	一九六七〇
一月	一九四九〇	一九六九〇
二月	一九二八〇	一九六九〇
三月	一九二二〇	一九二一〇
四月	一九〇五〇	一九二一〇
五月	一九一〇〇	一九一三〇

大阪棉花

限	寄付	大引
當限	四九五〇	四九三五
先限	五三三〇	五三三五

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十一月	八六〇〇	八六九〇
十二月	八六七〇	八六九〇
一月	八六五〇	八六五〇
二月	八六〇〇	八六五〇
三月	八六三〇	八六五〇
四月	八六五〇	八六七〇

印度麻袋

品目	値
鐵筋直積	三六留比八分三
青筋直積	三六留比八分三
爲替相場	八六留比〇分〇

爲替相場

鮮銀

品目	値
倫敦向電賣（一圓）	一志四片八分一
紐育向電賣（金百圓）	二〇弗八分七
上海向電賣（同）	七〇兩〇
同 賣（銀百圓）	八〇兩一〇
日本向電賣（同）	一〇八圓
同十五日拂買（同）	一〇八圓〇〇

奧地市況

錢鈔

品目	現物	先物
奉天（奉票）	一八〇〇	
奉天（現物）	一〇二一〇	
大洋票定期	九九六〇	九九九〇
開原（大洋）當限	一〇四〇〇	一〇四〇〇
安東鎭平銀 當限・先限	一〇四二〇	一〇四二〇
哈爾濱（大洋）現物	八六〇	八六〇

特產

品目	寄値	大引
▲大豆 哈爾濱 十月限	一〇一〇〇	
十一月限	九九〇〇	
十二月限	九九二〇	
▲小麥 哈爾濱 十月限	一三〇〇〇	
十一月限	一三六〇〇	
十二月限	一四〇〇〇	

滿洲日報
十一月四日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

陸海軍も削減を認め 豫算編成の前途樂觀
九日閣議で概算決定か

【東京四日發】來年度豫算編成について首相、藏相、鐵相等の間に慎重協議を重ね、藏相は陸海軍新規要求に關し陸相、海相と直接折衝を重ね、一方主計局をしてその要求に對しては相當額を認め査定せしめ、豫算の圓滿成立に努めた結果、**陸海軍でも多少の削減は已むを得ぬ**と認むるに至つた模樣であるため政府首腦部の**豫算編成に對して漸く前途を樂觀**し七日午前午後豫算審議を進めこの前後に藏相は陸相と最後の會見を行ひ直接交渉を爲し八日各省事務當局と大藏事務當局との間に折衝を重ね**九日には閣議を開き豫算概算書を決定**することになるだらうから大演習前に豫算は出來るだらうと樂觀してゐる

明年度豫算は廿二億
新規要求は七億圓を承認

【東京四日發】十四億に及ぶ明年度各省新規要求に對する大藏省の豫算査議も愈々四日を以て査定を終了、出來れば今日直に各省に内示それぞれ折衝の上、七日の閣議に附議する運びとなつた、而して大藏省は既定方針通り

一、新規要求は緊要已むを得ぬもののみに限ること
一、前項經費は各省とも既定經費節約を以て財源に充つること
一、滿洲事件費については今後の情勢に應じ別途に詮議すること
一、時局匡救費は本年度豫算を基準として定め明年以降三ケ年繼續事業とすること

の四大方針を以て新規要求削減の方針で臨めるため要求額の半額の七億或は六億程度に査定される模樣である、之に對し各省の復活要求も猛烈なるべきは明白で結局新規要求の承認さるゝもの七億圓を越えるべく基準豫算十五億圓と合し廿二億に及ぶべく前年度豫算を越ゆること三億圓の巨額に對する譯である即ち我財政は世界恐慌の嵐の中に時局匡救及び軍事費といふ内外不安の要求より我財政史上未曾有の數字を現出するに至つたが、この數字こそ現下日本の政治經濟上の苦悶を象徴するもので ある

新規公債十億
歳入見積りは約十二億

【東京四日發】政府は明年度豫算歳出の査定に先だち最高見積りにつき省議を開いたが、大體七年度實行豫算と大差なしとの結論に達した、然らば來年度歳入は十二億八千萬圓程度で廿二億の歳出を賄ふには增税せぬことに決してゐる今日公債に依たねばならぬことになつた、從つて明年度新規公債は十億圓に達するものと豫想さるゝが、九月末現在六十三億圓に達せる公債は本年末には七十億圓に達すべく之に十億圓を加へ明年は公債額八十億圓に達することゝなつた、而して時局匡救の必要繼續すれば昭和十年度は百億圓に達し利拂ひのみで五億圓近くを要することゝなり利拂のために更に公債を發行する時代も來る時勢に當面した、而して政府も財政の前途を憂慮する以上行財税制整理の擧に出づるに至るべしと豫想されてゐる

瀋陽縣の露人調査

瀋陽縣警察廳は管下各警察署に對し居住ロシア人の姓名、年齡、職業等を詳細調査し本月十日迄に報告すべしと命令した【奉天電話】

松岡代表露都着
二日に亘り勞農要人と交驩

【モスクワ三日發】滿洲問題審議の聯盟總會列席のためジュネーヴに特派された松岡代表以下隨員及び記者團の一行二十二名は三日午後モスクワ着、ソウエート外務人民委員會當局、大使代理參事官以下の出迎へを受けホテルに入つた、松岡代表は二日滯在ソウエート要人と儀禮的交驩を爲したる後ベルリン經由ジュネーヴに向ふ豫定である

けさ大連に着いた謝答禮專使一行(×印謝氏)

國賓としての御待遇に 一同深く感激
滿洲國承認答禮の大任を果して けさ謝專使一行歸る

晩秋の濃い朝靄をわけて陽の光に描き出された鮮かな滿洲國旗を前檣高く飜へして快走する定期船ありか丸は滿洲國三千萬の民衆の謝意を罩めて日本に使ひした滿洲國承認答禮專使謝介石氏一行を乘せて四日午前八時そのスマートな彼女の姿を大連港外に認めた、此日風や、強く波荒けれど大任を果して歸る謝專使一行は長い船路に聊かも疲れを見せず黒の滿洲國服一の裝ひに、丸刈頭にふくよかなその童顔にいつに變らぬ微笑を浮べた謝總長は殊の外嬉々とした喜びに胸おどらせつゝ出迎への人々に一々握手の禮を交し、自ら出迎への記者團を同船サロンに導き歸着最初の會見において左の如く感激に充ちた談話をなした

僅か三週間の短い期間において滿洲國承認答禮の大任を恙なく果して無事こゝに歸着しました日本に到着以來到る處で盛大且つ熱誠なる歡迎を受けました事は私はじめ隨員一行も感激おく能はざるものであります、殊に吾々が最も光榮とする處は畏くも

貴國帝室 におかせられて國賓として御待遇下され、親しく隨員一同拜謁の光榮に浴した事で、全く恐懼措く能はざる次第であります、私が一番感激致しました事は陛下にはわが滿洲國の國情につき御下問あり特にハルビン水災についてはかれてより御宸襟を惱ませられ再三再四詳しく御下問あらせられた事は一視同仁大の御心として私は全く感泣致しましたが、この感激は獨り私のみならず滿洲國民全體の感激であらねばなりませぬ、私は一々詳しく御答へ申上げその當時御下賜金を拜受しました御禮を申上げました、皇后陛下にも吾々に非常なる御仁德を垂れ給ひ御陪食を賜はつた際「專使等の旅行中雨降りは困るであらう是非とも雨が降らねばよいがと祈つてゐる」旨御仰せあり、非常に感激しましたが、天も

皇后陛下 の御仁心に感じてか吾々はこの恩澤に浴して一日も雨に降られた事なく豫定通り無事に大任を果し得たのであります、日本朝野の歡迎はこれまた宛然凱旋將軍の如き禮遇で吾々はこの感激の中において日滿提携して將來共に相協力一致一日も早く王道樂土を建設し以つて世界平和に貢獻しなければならないと益々固く決心したのであります、新く公的方面は無事に參りましたが私の私的方面では時間もなく知友諸氏に親しくお目にかゝられず電報も澤山頂戴したが一々御禮も申上げられず、誠に殘念に思つてゐます、最後に斯くの如く旅行中は一度も風雨に災ひされずまた病氣その他の故障は何一つなく、陛下の御仁慈と共に全くこれ天佑と申すべくたゞ感激の二字に盡きますが、恐らく

日滿關係 の將來も斯くの如くスラ〳〵と無事に進むものと確信するものであります

斯くして船は靜かに埠頭岸壁に運ばれ、滿鐵正副總裁代理杉本秘書役、小川市長、稲本税關長その他日滿官民多數の出迎へを受けて上陸、折柄埠頭待合所における歸還遺骨の慰靈祭に臨み神前に合掌して滿洲の野に眠る勇士の靈を慰めた後自動車を驅つてヤマトホテルに入つたが、四日は小川市長並に滿鐵正副總裁を訪問、歸省の挨拶をなし一泊、五日午前九時大連發歸京の豫定である

謝專使滿鐵訪問

滿洲國外交部總長謝介石氏は四日午前十時十五分滿鐵本社に林、八田正副總裁を訪問した

滿鐵今後の使命は
半營利會社として重大となる
農耕移民は難事業
三日來連の 木村拓務參與官談

拓務參與官木村小左衞門氏は池上屬等同三日着の旅客機で來連したが、林警務局長、大淵滿鐵理事、櫻内辰郎代議士等官民多數の出迎へを受け直に大連ヤマトホテルに投宿、同夜は滿鐵の招待宴に列した、四日は午前九時滿洲國外交部總長謝介石氏の訪問を受け、移民問題その他について約三十分間懇談を遂げ、林警務局長からは警備問題を聽き午前十時半ヤマトホテル發旅順に赴いた、應訪の記者に木村參與官は語る

ハルビンまでは行きたいと思つてゐるが歸京を急ぐ關係上どうなるか解らぬ、最初滿洲に來る豫定はなかつたが、内地旅行中突然京城で博文寺入佛式に參列の命を受けたのでこの機會にと思つて滿洲視察に來たのだ、何れにしても豫算の關係から十七八日ごろまでには歸る、私は滿洲視察が決つた時、堤政務次官と電報で打合せて六日大連で落合ひ共に手分けして滿洲の移民計畫地等を視察し

移民計畫 の基礎の頭を造らうといふことになつてゐたが、堤次官が遲れるので兎に角自分一人で出來るだけ視察したいと思つてゐる、拓務省としては佳木斯に送つた五百名の武裝移民の第二次分五百名は來年度必ず送られねばならぬが、八年度豫算において移民費四百萬圓といふ相當多額の豫算を大藏省に要求してゐる、然し今も訓練長と話をしたのだが滿洲への農耕移民は相當の難事業で、何分生活程度の高い民土から生活程度の低い民土に移ることは農耕の原則からいつても難かしいことなのだ、日滿

税制經濟 問題は拓務省でも大いに研究はしてゐるが、これもおいそれと實現は出來まい、然し早急に實現しないからといつて放任すべき問題でなくこれは是非實現させなければならぬ重大問題で、また實現出來ると思ふ、唯具體的問題になると難かしくなるのでこれを米價調節問題で見ると、今朝鮮から内地に八百萬石の米が移入されてゐるが、これが内地の米價を下落させる一大原因となつてゐるのだ、だからといつて朝鮮米の移入を禁止すれば朝鮮が困ることになることは明白なことで、こゝに實際問題として大きな困難に遭遇する、滿洲について見れば今硫安問題、昭和製鋼所問題があるがこれも滿洲、内地共にそれ〴〵の言分があるのだ、兎に角農作物にしろ、工業品にしろ日本が輸入を仰いでゐるものを諸所で作るやうにすることが理想なのだ、然し日滿經濟統制確立のうへからして内地の工業を

各資本家 個人の意思にのみ任してならないことは一般も認めてゐるし、結局これ等内地の工業なりあらゆる産業に政府として相當統制力を持つことが必要となるので現在政府としてもこの統制力を持つことに非常な苦心と努力を拂つてゐるのだ、それが却々おいそれと行かないので困つてゐるのだ、滿鐵の滿洲における使命も段々變つて來やう、即ち滿鐵がやつてゐる政治的なものは外に移し半營利會社としての面目に立歸り、單に内地資本だけではなく外資の消化にも努めて更に積極的に滿洲の經濟開發に努めるべきであらう

日蘇關係 の推移については詳しくは知らないが私個人としては領土不可侵條約を結ぶことは必ずしも惡くはないと思ふ(寫眞は木村氏)

木村參與官旅程

木村拓務參與官は五日滿鐵を訪問七日朝大連發の急行で赴京の筈

近く操業開始する 奉天の造兵廠
社長に黒崎豫備中將

【東京三日發】豫て懸案中であつた舊奉天兵工廠を利用する株式會社奉天造兵廠は愈々設定される事となり社長黒崎延次郎氏は近く舊兵工廠の一部を運轉し滿洲國の治安維持上重要の兵器並に滿洲國の産業開發に必要なる資料等の製造を開始する模樣である、なほ同社長に決定した黒崎延次郎氏は豫備陸軍中將で長く陸軍科學研究所にあつた人で兵器に關しては一方の權威である、今回同工廠が民間に利用せらるゝに當つて社長となつた事は極めて適任であり滿洲今後の開發に非常に稗益するものと多大の注意を拂はれてゐる【寫眞は黒崎氏】

滿洲國水運法規
審議委員會にて審議の上
一部は本月中に施行

滿洲國の依囑を受けて岡本關東廳海務局長並に遞信省遞信局書記官安田丈助氏、遞信省事務官田倉八郎氏等慎重研究協議の結果成案せる世界に誇る滿洲國水運法規の成文を携へ去る卅一日奉天を經て新京に出張中の岡本海務局長は三日朝八時大連驛着列車で歸連したが氏は左の如く語る

駐滿全權部を訪問し成文法規を傳達したが、全權部は移轉で多忙を極め小磯參謀長と談合したるもまた改めて說明方々行かねばならぬ事と思ふ、同法規は全く世界にも誇る自慢のものであるが滿洲國として不日審議委員會を組織し一日審議し法制局の手を經て發布される運びに至るであらうが、その中施行を急ぐ内河航業運法、船舶法等は本月中には審議を經て、他法規に先ち發布施行せられる事になるもの と推察される

蘇家屯醫院 來月開業

滿鐵地方部工事課が六月起工總額九萬圓で竣工を急いでゐた蘇家屯滿鐵醫院の新築工事はこの程殆ど成し二、三日中に衞生課に引繼がれることゝなつた、同醫院は内科、

滿鐵豫算 重役會議

滿鐵豫算重役會議は四日午前九時半より開會、地方部、技術局の分を査定して正午休憩したが、午後は更に殘つてゐる總務部、商事部東京支社、奉天、哈爾濱事務所等を査定して四日で事業費豫算を議了する筈、五日は營業收支豫算査定の大體方針について討議するが來週は林總裁が大石橋および營口方面へ視察に赴くので重役會議はなく、その留守に經理部において收支豫算案を作成、來々週より重役會議に附するが、事業費中でも論議が多かつた費目で決定を延期されたものがあるので、これらを一括最終的決定をなすことにならう

滿洲國礦業會議

滿洲國實業部では全國の礦業會議を本月中旬迄に新京において開催新礦業條例の制定と許可せる礦業區の規定違反者の礦區回收、國營

外科の兩科からなり十二月初旬開業の筈で、取敢ず最初は奉天醫大から醫員應援に出張診療に當るが遠からず沿線の醫院から適任者を物色して院長その他を正式に決定の筈

張景惠氏一行 けさ門司到着

【門司四日發】大演習陪觀のため來朝の滿洲國軍政部總長張景惠氏侍從武官長張海鵬氏以下十七名は今朝商船うすりい丸で賑やかに來朝したが、恰も此日は日滿を繋ぐ大連航路船門司岸壁繋留第一日のことゝて關門有志總出で歡迎し、一行は老松公園の忠魂碑參拜後、午後一時同船で神戸へ向つた

前駐連米國領事

永らく大連駐在アメリカ領事として活躍せるトーマス氏は今回ギリシヤ國アテネ駐在領事に榮轉することとなり、後任前ハルビン駐在領事ジョン・シー・ビンセント氏も既に着任し事務引繼ぎも了したので四日午前十一時出帆大連丸にて離連赴任の途についた

……礦區其他につき討議を行ふとなほ日本視察等に向ふ實業廳長のうち奉天からは王家鼎氏が參加の模樣である【奉天電話】

うらる丸船客

【門司特電四日發】六日大連へ入港豫定のうらる丸の主なる船客諸氏大阪商船調度課長奈良橋茂三郎、滿洲國省立吉林醫院長青木大勇、日本新聞聯合記者高橋勇、同升井芳平、日本製菓社員稲垣重信、鐵工業友野直二、同横田定男、藤垣昌平、辻俊夫、太田丙子郎、岡本潔、姫島一郎、室塚鐵二

人事

▲謝介石氏(滿洲國承認答禮專使)四日朝入港ありか丸にて着連
▲勝田重直氏(同國外交部秘書官)外謝氏隨員十五名 同上
▲岡田朝太郎氏(明大早大教授)同上
▲小山貞知氏(滿鐵囑託)同上
▲揚松氏(臺灣臺北商業會理事)同上
▲秋田寅之助氏(實業家)同上
▲廣瀬軍次郎氏(同志社主事)同上
▲九大劍道部滿洲遠征團一行(同上)
▲五泉賢三氏(辯護士)四日午前十時出帆ばいかる丸にて内地へ
▲伊手衡氏(賞勳局書記官)四日午前十一時出帆大連丸にて上海へ
▲鹿野清一氏(同局)同上
▲原田清一氏(海軍中佐海軍省人事局員)同上
▲トーマス氏(前大連駐在米國領事)同上
▲赤柴八重藏氏(陸軍歩兵中佐陸軍省人事局員)同上
▲品川主計氏(滿洲國監察部長)同上
▲迫喜平次氏(同國人事處長)同上
▲結城清太郎氏(同國監察院總務處長)同上

蛇の目

◇

黄金臺下の金塊百萬留、成程理窟はチャンと合つてゐる。

◇

片岡滿永五二ケ年の苦心もこれでどうやら水の泡?は少々皮肉だがこれも語呂は合ふ。

◇

それは兎に角、此調子だと王の浦には瓊玉位はあるかも知れぬ。

◇

慾深連中はさア出掛けたり出掛けたり。

◇

玖馬では産糖制限、ロシアでは砂糖饑饉、共に苦い問題。

◇

選擧違犯事件の火の手、ます〳〵燃え擴がる。

◇

哀傷の後の哀傷、歡喜の後の哀傷な味はふもの果して幾人?

市議選擧郵便物取扱數

大連市會議員の選擧に際し先月十一日から十一月一日まで市内各郵便局で取扱つた郵便物は八十八萬四千七百十七件、電報二千七百五十四件、合計八十八萬七千四百七十一件でこの内容は左の通りである

▲郵便物

中央局	七五六、二三〇
各郵便所	二八、七一九
沙河口局	九九、七六八
計	八八四、七一七

▲電報

中央局	二、七〇四
沙河口局	五〇
計	二、七五四

滿蒙の戰慄 (143)
直木三十五作 淺枝次朗畫

再生 (六ノ一)

「おい」

一人の友人が、西城の肩を打つた。

「何んだい」

「聞いたぞ、畜生、うまくやつてやがらあ」

ひつきり無しに、電話が、かゝつてゐたし、それと同じやうに、給仕が、行き廻つてゐた。

「何を?」

「何をつて、眉間の疵つて所だ(麗のことだな)」

西城は

と、感じたが、原稿挿紙へ、鉛筆を走らせながら

「疵が何うした」

「よし、白つぱくれやがつて、今夜、ひでえ目に、逢はしてやらあ」

机の右の一人が

「今度は、左の眼の下を、やつつけるさ」

と、云つた。

「どんな事をしたら、又、一人、出來ちまわあ。女つてやつは、馬鹿で、センチメンタルだから、下らん事に、感激しやがつていけねえや」

「閑話休題」

「何云つてやがる」

西城は、原稿をかき終ると、椅子を、向けて

「口惜しかつたら、疵をしろ」

「へんだ——疵をしたら、泣く子があるあ」

「そんな子がありやあ、羨むな」

「もう一人、欲しいんで、目をつけてた所だ」

「奢れ」

「慾張り野郎」

「いやだ。醫者代で、文無しだ」

「誰が、くれるだらう」

「あいつも、文無しだ。すつかりくれつちまつてれ」

か」

と、怒鳴つて

「時に——とにかく、一度位、紹介する必要はあるれ」

「二三度の値打あるよ」

「と、外から見えるがれ。實は、まだ、何んでも無いんだ」

「とかなんとか——何云つてる、今時分になつて」

「往生際の惡い奴だな。金が無けりや、會計に行つて、實はこれ〳〵で、奢るから、かせつて云やあの爺かすよ」

「張り飛ばすだらう」

「そこを、彼女に見せると、又、惚れるかな」

「さあ、一つ、相談してみやう」

「妾なら、もつと、上手に、張り飛ばすわつて云ふだらう」

そんな事を云つて、笑つてゐる時、一人の友人が

「滿洲も、そろ〳〵下火かね」

と、云つて、一枚の新聞を、西城の机の方へ上置いて

「僕が遣つたれ」

と、顏をみた。西城は、新聞をとり上げた。

「あれ——のめ〳〵してやがる」

「女の子つて、ヒーローを好むもんでれ」

「手前、ヒーローか」

「いゝぜ。メリケン食つて、グロッキーになつてる所なんざ」

「あの綴の女が、惚れてくれるんなら、首をとられてもいゝがな」

「首の代りに、鼻でもとられたら何うする」

「鼻は困るれ、耳が片方無いなんて、一寸、ダンチイだが」

「鼻の片方が無いなんてのも、シークだぞ」

「鼻の片方無い面つて、どんなのだらう」

一人が

「何云つてやがる。仕事をせん

菊花薫る明治節

玉音朗かに勅語を賜ふ

豐明殿御祝宴

【東京三日發】十一月三日は明治大帝の御遺徳を偲び奉る明治節、折柄非常時日本の聲高き緊張の秋とて八千萬國民は一入意義深くこの記念日を迎へたが、この日宮中に於ては嚴かな御祭典、並に御佳例の佳き日を壽ぐ御宴を盛大に催させられた、御祭典は午前九時半から宮中賢所、皇靈殿神殿に於て宮内勅奏任官總代各一人參列の下に九條掌典長以下奉仕して執行、同十時天皇陛下には御束帶黄櫨染御袍の神々しき御裝ひで出御、懸ろに御拜あらせられた、御宴會は正午宮中豐明殿に於て催させられたこの御宴に召された人々は

東鄕、山本兩大勳位、齋藤首相以下各國務大臣、倉富平沼正副議長以下各樞密顧問官、各前官禮遇、陸海軍大將、德川、近衞、秋田楠原貴衆兩院正副議長、公侯爵以下勅任待遇以上及伯子男爵の一部並にバッソムピエール白國大使はじめ各國大公使等約七百名

何れも大禮服又は正裝或は通常禮服美々しく二重橋正門より自動車を連れて參內、秩父宮高松宮兩殿下はじめ各皇族方にも御參內あらせられた、かくて諸員式部官の誘導で宴殿の本位に着けば、天皇陛下には陸軍樣式御正裝に大勳位菊花章頸飾御佩用、林式部長官、一木宮相前行、鈴木侍從長、奈良武官長以下御後に候し各皇族方供奉、更に大勳位以下前官禮遇以上並に各國大公使御後に隨ひ奉つて出御、諸員最敬禮のうちに中央の御座に着かせ給ひ玉音朗かに勅語を賜ひ、齋藤首相は群臣を代表して白國大使は外國使臣を代表して恭しく奉答文を捧讀した、それより華やかなる御宴に移り、一同に酒饌を賜ひ、陛下にも御膳、御酒を召させられ、シャンデリヤ輝かしき宴殿をこめて菊花の香りいや高く、この間陸軍々樂隊は麗しき舞曲に御興を添へ奉り、畏くも群臣和樂のうちに御宴を終へさせられ、陛下には二時近く天機麗しく入御一同けふの佳き日を心ゆくまで寿祝して退下した

金塊百萬金留を旅順で掘り當てたか

露國太平洋艦隊會計艦の金

事實ならべ號は駄目

金塊暴騰で金屑買占め成金の續出する今日一百萬金留の金塊が旅順市中に埋沒されてゐる事が確認され去る九月十五日關東軍經理部の許可を得て發掘を初め三十一日その金庫を發ひ隱せる鉛板を掘り當てたといふ夢のやうなニュースがある、場所は旅順黄金臺山麓海軍要港內祠廬井記念碑附近、出願者は大連市櫻花臺六一番地の六佐々木德治氏、然もその金塊が發掘されると潛水王片岡弓八氏が二ケ年に亘り海底に求めたペトロ號のそれは單なる想像說に終るべしとさへいはれ興趣は正に百パーセントである

九ケ年間出願して

今秋九月發掘許可

黄金臺の山麓から

埋沒の痕跡をたぐる

話は日露戰役旅順開城當時にさかのぼる、露國太平洋艦隊にして旅順港內外に沈んだもの大小四十數隻中、過去二十四年間の鐵材その他積載品引揚げ作業中まだ一個の金屑も發見したものはない、これは露國艦隊が常に會計艦を伴ひゐる史實よりして奇怪である、然るに戰後旅順要港部に出入し沈沒艦の引揚げ作業に從事してゐた出願人佐々木德治氏は當時の要港部職員香田長次郎氏その他から會計艦の金は全部露國海軍當局が再擧を圖るため黄金山麓に沈めてゐると聞き込み當時の海軍無線電信所長小倉眞二大尉の發掘許可願を出した小倉大尉は

一、日露戰後露國殘務整理委員エーギリーフがペイント塗料その他の發掘なせる以後再三前記個所の貴金類發掘を執拗に出願せる事實

二、時のバルチック艦隊は七百萬金ルーブル積載せる會計艦ラヒモフ號隨行し居り然かもロジオノーフ艦長は戰後露都歸還後陛下に「お預りの貴金類は五十尋の深海に沈めたれば再び敵の利用する恐れなし」と奏上せる事實より見て太平洋艦隊にも當然會計艦附隨し居る事を推定し得

三、その他口碑、類例、傳說、記錄等の詳細調査の結果

出願の內容を是認、大正十四年十一月願書を受理し佐世保鎭守府に移牒送達したのである、然るに該地は軍事上頗る重要なる個所なるため容易に許可指令なく以後九箇年間五回に亘り安藤要塞司令官外陸海軍高官八氏の贊同を得て政府當局が産金獎勵を講じ居る際國家の豐庫を徒らに地中に放棄し居るは遺憾なりと出願を繰返せる結果去る九月十五日を以て現在同地使用の關東軍經理部長の名を以て出願者に掘鑿の許可があつたので出願者佐々木氏は直に掘鑿工事に着手、先づ記錄書に基づき東港々口寄りの百年を經過せるといふ大櫻の老木から一直線に黄金臺山麓に向つて平均一尺づゝを掘りながら作業を進めた、去る二十七日傳說中にある金塊への指針ワイヤ五十七米を發見、更に三十一日午後三時半地下一尺餘の地點より幅三尺五寸、長さ七尺、厚さ五寸乃至一尺、重量千三百斤の鉛の流し滓及び鉛板を發見するに至つた、この鉛滓こそ金塊の防錆、隱蔽のため使用した鉛板鑄込み作業の痕跡なりと佐々木氏始め立會者の歡喜と勇躍は早數百萬金留を獲得せるばかりであつた、目下引續き作業を進めつゝあるが果して問題の金塊に行き當るかどうかはこの數日の間に決まるものと見られてゐる【寫眞は出願者佐々木氏】

ペ號よりも確實だ

留守宅の話

市內櫻花臺六十一番地の自宅に金塊發見の幸運者といはれる佐々木德治氏を訪れる、家族は夫人と令孃との三人暮し、靜かな家庭だ、丁度當の佐々木氏は旅順の現場に行つて留守、夫人も外出中で令孃と玄關口で立話しをする

隨分以前から夢中になつて調べてゐました、もう九年前からです、私達にはよくわかりませんでしたが、潛水王の片岡さんが色々と噂に上つてゐる時も、俺の方が確實だと頑張つて調べてゐました、實際に手をつけたのは一ケ月前からで、先月二十七日に父が調べた文書の中にある金庫へのロープに達したとかで父はもう大喜びでした、今日旅順の方から知らせがあつたので飛んで行きましたが、私達には何だか夢のやうな話しで何もお話しすることが出來ません、何れ父が歸りましたら色々とお話しも出來ませう

益々擴大する

市議選擧違反事件

檢察局は總出で活動

大連市會議員選擧違反事件はますます擴大し大連地方檢察局では三日の祭日に拘らず池內主席檢察官高井、井關兩檢察官以下書記總出動の下に午後一時から檢察官室にて司法、高等兩刑事を招集、搜査會議を開いた結果、前日に引續き上原、龜澤、森川の三氏に關する違反事件の搜査を開始、午後一時三十分井關檢察官は木梨書記以下數名の刑事を伴ひ大連署自動車「大三〇三號」にて上原氏の選擧事務員市內若狹町林田文助氏宅に乘り込み約一時間に亘る家宅搜査の結果、若干の證據品を押收、同時に林田氏を任意出頭の形式で同行井關檢察官の手で夕刻に至るまで取調べ歸宅を許した、一方大崎檢察官事務取扱ひの一行は大タク「大一一二二號」で上原氏の選擧事務長渡久山辯護士事務所を襲ひ家宅搜査のうへ次いで聖德街一丁目上原氏の自宅に赴り約一時間に亘る家宅搜査を行つて引揚げ、夜に入りて渡久山事務長を召喚取調べた

右は林田運動員が選擧二日前の九日夜朝鮮人有權者十餘名を連鎖街扶桑仙館に招待饗應したとの嫌疑によるもので、大連署高等係では招待を受けた鮮人有權者を片端しから召喚、小平部長李鮮人係の手で嚴重取調べた、更らに龜澤氏の違反事件に就ては某組合の事務員を使つて投票買收に奔走せしめたとの醜聞あり、これら關係を召喚、池內檢察官の手で取調べを開始し森川氏の違反事件は高井檢察官の手で市內浪速町一一二番地朝子某を召喚、同人が樋田某外多數の有權者自宅の戶別訪問を行つたといふ自供に基き樋田某外七、八名を召喚夜に入るまで取調を續行しまた森川氏關係にて滿鐵沙河口工場員、大連機械事務員らも續々召喚取調を受けた四日は午前八時より上原、龜澤、森川、中川、田尻、高塚の各當落候補の違反事件に關し總括的搜査と參考への取調を續行してをり一方饗應事實を突き止むべく花柳界方面へ搜査の手を伸べてゐる

勇士の遺骨歸國

謝介石氏が玉串捧奠

名譽の戰死をとげた大崎德三郎少尉以下十四勇士の遺骨は三日午後四時四十五分大連驛着列車にて輸送指揮官加藤静雄特務曹長以下戰友並に遺族等に捧げられて到着、公私機關代表者在鄕軍人各種團體その他市民多數の出迎へを受け一旦天神町常安寺に安置されたが四日午前十時出帆ばいかる丸にて內地への悲しい凱旋の途についた、この日恒例により午前八時半より埠頭待合所に於て神式に依り故十四勇士の慰靈祭を執行した、折柄あめりか丸にて歸着せる滿洲國答禮專使謝介石總長は隨員と共に參拜、謝總長は靈前に參拜親しく玉串を捧奠して勇士の靈を慰む、次いで小川市長、在鄕軍人聯合分會長岩井少將其他の玉串奉獻あつて式を閉じ、乘船定刻午前十時ばいかる丸上甲板に安置せる故勇士の遺骨は官民多數の追悼裡に國の鎭めの喇叭もいと淋しく靜かに故國への船路についた【寫眞は遺骨の乘船】

忠靈塔前で明治節祝賀

鄕軍は大會を開く

大連市官民合同の明治節祝賀會は三日午前十一時四十分から中央公園忠靈塔前に於て擧行された、參列者は八田滿鐵副總裁、森本地方法院長、井上民政署庶務課長、高柳中將、岩井、牧野兩少將始め約三千人、先づ國旗掲揚後「君が代」を三唱、小川市長の祝文朗讀あり、國旗を降下し八田滿鐵副總裁の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱し閉會したが、折柄の好天に惠まれて頗る盛會であつた、また大連在鄕軍人聯合分會では十一月三日明治節の佳節を卜し午前十時三十分から中央公園忠靈塔前に於て創立記念式および聯合分會大會を開催した、出席者は岩井分會長、高柳顧問以下一千名、高田少佐の開會の辭に次いで一同忠靈塔に禮拜、國旗を掲揚「君が代」を三唱後岩井分會長は

一、在鄕軍人に賜りたる勅語

二、本會設立の際賜りたる令旨

三、本會設立の趣旨

を朗讀、引續き聯合分會長として一場の訓示をなし、更に山村旅順支部長の訓示、來賓高柳顧問の挨拶あり、左の決議を爲し會歡を合唱し「天皇陛下」の萬歲を三唱し閉會したが右決議は總理大臣、陸軍、海軍、拓務、外務各省大臣、參謀次長、海軍々令部次長、貴族院、衆議院兩議長、在ジュネーヴ駐在日本全權等に建白送附された【寫眞上國官民合同祝賀會、下聯合鄕軍人分會總會】

決議

一、皇道主義に立脚し東洋平和を目標とする帝國の正義を蹂躙せる國際聯盟調査委員の僻見的報告は適確なる認識を有する吾人在滿鄕軍の斷じて默過し能はざる所なり

二、極東問題に關する聯盟の容喙的態度を監視し帝國の正義を無視するに於ては敢然脫退甞つて國難に赴くの決意を有す

三、帝國四圍の情勢は擧國一致國難に當るべきの秋なり此時に際し苟も非國家的言動ある分子は斷乎として之を排擊し軍備の充實に努め國防能力を增進すべし

四、王道立國の滿洲國を支持し民衆共榮の樂土建設を援助する爲め相當兵力を增派し速に匪賊を剿滅せられんことを要望す

昭和七年十一月三日

帝國在鄕軍人會 大連市聯合分會大會

戰傷病兵けさ來連

六日に內地へ

各地の備戍病院に於て療養を續けてゐた戰傷病兵久保木中尉、森中尉以下四十二名は大谷一等軍醫以下の看護班員から手厚い看護を受け四日午前七時大連着列車で官民代表並に市民有志多數の出迎へを受けて到着直に市內大江町陸軍衞戍病院分院に收容、白衣につゝんだ傷ける身體をベットに横へ在連各婦人團の人々から懇な心盡しの花束等に旅の疲れを慰められたが四日天潮丸にて天津より來連する四名の傷病兵と共に來る六日午前十時出帆の武昌丸にて金久保一等軍醫に附添はれて凱旋、廣島衞戍病院に於て靜養するはずである

滿鐵社員二名の死體發見さる

泰安鎭で名譽の殉職

滿鐵入電によれば泰安鎭で行方不明となつた滿鐵社員四名中、左の二名は二日午後死體となつて發見された

安東驛車掌　古川年定氏(四〇)　原籍　岡山縣淺口郡金光町大字大谷

鐵嶺驛　星原邦次氏(三四)　原籍　鹿兒島縣薩摩郡永和村

なほ古川、星原兩氏の殉職が正式に滿鐵々道部に入電あつたので鐵道部では直に兩氏の表彰その他について協議したが、兩氏には表彰規定による最高の表彰をなすと共に兩氏の遺骨所屬箇所への到着を待ち鐵道部葬を以て葬儀を執行するもの、如くで、兩氏の略歷は左の如くである

古川年定氏　大正七年十一月滿鐵に入社驛夫となり安東驛勤務となる、昭和四年二月准職員となり五年十二月車掌を命ぜられ現在に至る

星原邦次氏　大正十年滿鐵入社鐵嶺驛驛手となる、昭和四年准職員となり七年五月操車方を命ぜられ今日に至る

福昌公司の高木氏殉職

連絡を絕たれた克山の形勢は極めて憂慮されてゐたが二日漸く電話の連絡が復活するを得た、これによれば滿鐵社員は一同無事であつたが福昌公司の高木氏は殉職、小田組の稻荷、浦兩氏負傷、同小澤岡村の兩氏行方不明、滿電牧野氏負傷した、なほ克山城內では邦人三名戰死し負傷者多數の見込みだが詳細なほ判明せず現存邦人は旅團司令部に避難中だと

九大劍道軍けふ來征

滿鐵軍と對戰

九州帝國大學劍道部里井三段以下十二名は柴田萬策教士、中村泰三監督に引率され滿鮮武者修行のため四日入港のあめりか丸で滿鐵高野範士、波多江教師その他多數關係者の出迎へを受けて着連、直に旅順戰蹟見學に赴旅、五日午後四時半より滿鐵大連道場に於いて滿鐵大連支部軍と對戰、六日午前九時發新京に向ひ七日滿洲國劍士、十一日は奉天に於いて試合を行ひ陸路朝鮮經由で歸校する、なほ四日午前兩軍首腦部集合の上交換されたメンバー左の如し【寫眞は九大軍一行】

▲九州帝大軍

大將　三段　里井孝三郎

副將　同　福島鶴太郎

同　川崎　巖

同　松村　謙三

二段　今村　滿雄

同　瀨尾　明治

同　黄田　謙介

同　西　康世

同　高尾　進

先鋒　同　三井　卓雄

補缺　三段　藤原　哲夫

二段　鈴木　憲輔

▲滿鐵大連支部軍

大將　四段　菅原惠三郎

副將　三段　篠原清一郎

同　荒川　好一

同　關　奥志雄

二段　萩原　春海

同　志波威和夫

初段　溝口　初芳

同　大森　政雄

同　樋口　實

同　横峰　榮二

先鋒　三段　只熊　猛

補缺　同　山本　健一

二段　寿當　龍起

同　加藤　一郎

本社勤續者表彰式

滿洲日報社では四日午後二時より營業局長室に於て十ケ年勤續者表彰式を行ひ細野編輯局長、佐賀營業局長立會ひの上左記七名に賞狀と記念品を贈呈した

新聞工場小泊正則、同小森豐肆同于文江▲輪轉工場王成公▲印刷所孫維廉、同陳學動、同尹祚訓

西岡瑞穗個展

元旅順女學校に繪畫教育者として知られた西岡氏は長年の創作苦の自個內省を旅順より巴里に持込み三年間努力を重ね世界の尖端巴里のサロンに力作を發表する事數回歸朝後久々にて曾遊の地にて十一月五、六七日三日間滿日講堂にて作品パリ滯在中の小品旅大スケッチ百數十點を以て展覽會を開催する

校正係　明石　三郎

右十月三十一日限り退社致させ候御今本社とは何等の關係無之候

昭和七年十一月四日

滿洲日報社

天氣予報

五日　北西の風　晴一時曇　溫度降る

滿潮（午前二時三十分　午後二時五十五分）

干潮（午前九時三十分　午後九時）

暴風警戒　風强かるべし午後一時南滿洲附近を警戒す

各地氣溫

四日午前十一時

大連　一六　奉天　一二

旅順　一六　新京　九

營口　一四

けふの小洋相場（正午）金百圓は一二七圓八五錢

當選御禮

今度市會議員選擧に際し幸ひ當選の光榮に浴する事を得ました偏に貴下の尊き一票の御蔭で有りまして、誠に感謝に耐えません。謹んで篤く御禮を申上げます。今後老骨益々市政に努力、御期待に副はん事を確く期して居ります。乍略儀不取敢紙上を以て右御禮を申上げます。

市會議員　石本鏆太郎

推薦者一同

當選御挨拶

地位なく、財なき全くの孤立無援、然も在連漸く四年半にして目の市會議員理想選擧戰に再出馬致しましたにも不拘相當の得票にて當選致しましたことは乍今更私儀としては感涙に咽ぶ次第であります是れ全く御同情ある大方諸賢の御後援の然らしめたものと深く拜謝致します

茲にその御厚志に報ひんが爲め將來必ず獨立獨歩力强く改造途上にある吾が大連市政に精通致しますことを御誓ひ致しまして當選の御挨拶に致します

誠恐惶頓首

十一月二日

芦刈末喜

大連市菖蒲町一〇九番地

私儀九月上旬より病氣にて大連病院に入院中は皆々樣に一方ならぬ御迷惑を相懸け誠に申譯なく存じます、御蔭樣にて今回退院を許されましたので去る十一月一日より平常通り治療に從事致しますから倍舊の御愛顧を賜り度御願ひ申上ます。

整骨專門　若狹町二三二　山田行正　電話三七八九番

御挨拶

今回の市議戰に際し皆々樣より深甚なる御同情と御援助を賜り深く感謝致して居ります。不幸惜敗御期待に副ひ得ませんでしたが今後共何卒御鞭撻の榮を得度茲に乍略儀此段紙上御禮旁々御挨拶申上げます

昭和七年十一月四日

中川邦四郎

家庭

外へそとへ

◆…小春日和のこのごろ、澄み切つた紺青の空の下から黄や紅に色づいた山が私共をさし招いてゐます、お母樣方よ、お子樣を連れて秋の山へおいで下さい、うらゝかな陽の光と、廣い／＼空と、さわやかな風がどれほど皆さんの心を爽快にすることでせう、家にゐますと喧嘩ばかりして困る坊ちやんや孃ちやんも「喧嘩なんかくだらないや」とゲンコツを解いてしまふでせう、いつも咳ばかりしてゐる小さいお子さんも奇妙に咳が出なくなりませう

◆…山のなだらかな斜面を驅けのぼつたり驅下りたりする運動が發育ざかりのお子さん方の全身を均等に發達させてくれることも、食慾のあまりすゝまないお子さんの胃袋が驚くほど晩の御飯を要求することも、そして寢つきの惡いお子さんがお母さんのねんねんねんねを聞かされないうちにひとりで眼をとぢてしまふことも思ひがけない秋の野遊びの賜物でせう

◆…色よい秋草を分け乍ら、先頃まで咲きみだれてゐた撫子、女郎花、桔梗等の種子をあつめたり、その根もとに思ひがけなく生き殘つた虫の姿を見出すことも一面お子さん方の博物的智識を養ふ一助となるかも知れません

ドイツ海洋少年團に飛行技術の教練

ドイツが軍縮問題に新しい要求を提出して世界の非常な視聽を集中してゐる折柄、同國では以前より民間飛行、スポーツ飛行を通じて軍備におけるこの缺陷を補ふため一般國民に飛行熱を注ぎ込むこと非常なものであるが、過般ベルリンのスポーツ飛行クラブたるＮ・Ｔ・Ｆ・Ａではドイツ海洋少年團をそのクラブ飛行場スターケンに招待して實地教練に理論研究にクラブ員團員ともに非常な熱のいれ方であつた【寫眞はスターケンにおける海洋少年團の飛行實地教練】

石炭はどんな心掛けで焚いたら經濟か

十一月の聲を聞きますと石炭の需要がそろ／＼初まりますが、さて半年近くも續けて焚く石炭はどんな種類を選んで、どんな風に焚いたら氣持ちよくまた經濟的に焚けるでせうか

それには第一燃料、第二燃燒器具第三焚き方といつた風に三拍子が揃つて初めて經濟的に石炭を使用することができるのです

家庭用 の石炭としては餘り高熱な品すものよりは寧ろ弱い通風で徐々に又適當に燃え、煙や灰が少く、粘り氣もなく硫黄分が少く、しかも燃えつきのよいものが理想的な家庭用炭ですが、こんな長所ばかりを備へてゐる石炭はなくすべて一長一短がありますから、各石炭の性質を調べて、それを混合して各長短を補つて焚いて初めて經濟的に石炭が焚けるわけです、この混炭は工場、會社などでは比較的早くから實行されてゐます、最近家庭でもだん／＼この方法で石炭を焚かれるやうになつて來た譯ですが

混炭と いふのは撫順炭七、本溪湖炭三の割合でムラができないやう平均に混合させます、こうして混炭した石炭を焚きますとこの兩方の石炭がおの／＼の特徴を發揮して短所が補はれ燃燒が好都合に行くのです、例へば撫順炭は揮發物が多いため火つきがよく燃え初めるとその熱で火つきの惡い本溪湖炭も共に燃え出します本溪湖炭は焔が長いので混合すれば適當な焔の長さとなり、撫順炭だけ焚く場合より熱の集中も多くなるので爐の熱度も從つて昇り、火持ちもよく、燃燒も緩漫となるので煤煙も大へん少くなります、しかし混炭といつても性質の違ふ石炭を車夫まかせに麻袋から

出鱈目 に開けさせたり、ボーイまかせに、よい加減に混合させる位でしたら混炭の意味をなさず、效果のあがる筈はありませんから主婦が注意し監督しながら混合するといつた方法をとられることです、もしこれが面倒だとすればむしろ初めから煉炭を使用した方が德用です、次に石炭は日光が當らず雨や、雪のかゝらないところがよく、粒は揃つてゐるのがよいのです、石炭を焚いてゐる間に肝腎なことは爐の溫度を保つことで、石炭の焚口の扉は開けたら早く締めること、それに通風の調節に氣をつけること、殊に撫順炭は火格子の下部からだけでは通風が不充分なため焚口の通氣口は扉を閉ぢてから、三分から五分は開けておくこと、又くべた石炭の量の増減によつて通風の加減の必要もあれば、煙道のダンパーの開きの調節にも

注意を 拂はなければなりません、それから石炭のくべ方ですが火層面は薄く平等にして一樣に燃えるやうにしなければ、火層に厚薄がありますと通風の盛んな薄いところは燃燒早く、熱度が高くなり、どうかすると火格子が露出して遂には穴が出來、そのうへ爐の溫度を下げます、これと反對に火層の一部だけが高くなつてますとこゝだけ通風が不良となり、無駄に燻るばかりです、よく習慣的に火搔や火鎌で火層をかき混ぜ火格子を動かす人がありますがこれはよくありません

子を思ふ親心
毛糸編物の若返り法と簡單な毛糸の湯伸方

寒さ押しせまると共に愛しい子達に寒い思ひをさせまいと氣をあせる親心は眞にうれしい次第です、それにつけても毛糸編物など兄さんや姉さん達の小さくなつたものは弟、妹にお讓りが利けばそのまゝ解き直さなくて便利ですが、讓り與へる弟、妹がない家庭ではこれを解いて同色がなければその色に近い同系統の（濃淡）ものを模樣のやうに裾にでもとり入れて編みますと廢物利用とは思はれない位の立派なものが出來しかも店頭で求めるものと一寸變つた趣きのあるものができます、糸が弱つてゐるものは編み直しても又すぐに使用に耐へないやうになりますのでこんな場合は糸を二本にして編みますと大へん丈夫なものができ又何年も使用されるので大へん經濟的です。

× ×

解いた毛糸の湯伸も相當手が要るので一寸厄介ですが次のやうな方法でやりますと解きながら簡單にしかも綺麗に湯伸ができます、解く場合は大きい箱を用意しておきその中に解いた糸をふはつと重ねて行き餘り澤山解かないうちに日本手拭か西洋手拭を充分濡らして絞り裁ち物板のうへにおきその上に解いた毛糸をおいて、その上から又濡れタオルをおき熱いアイロンをその上からかけますと中の毛糸はふんはりと氣持ちよく伸び艶も出て、少々の汚れくらゐならタオルに吸ひ込まれ綺麗になり片つ端から編んで行けます（アラモード帽子店平塚美代子さんの話）

滿洲婦人歌壇

笠原正江

○
われはたゞ　われの理想を守るのみ
さかしらするさ　人みなは云ふ
○
眞正直に　もの云ふ友を　たしなめし
やゝに世馴れし　われのさびしさ
○
世に生きて　三十路に近し　わがこゝろ
いつはることを　おぼえたりけり
○
初鯖は若く光りぬ　ましろなる
菊飾りたり　さかなやのひる
○
野菜店に　柚と茸と並びゐて
秋はも偲ぶ　ふるささびさを

家庭顧問
離乳したら一週間で月經來潮、姙娠でせうか

【問】三十歳の人妻、産後一年八ケ月間無月經でしたが八月中旬離乳しましたら一週間して初めて月經を見ました。人の話では姙娠の徵候だらうとのことですが如何でせうか（しづ江）

月經來潮したから姙娠したとは決められない
岩男其二郎

【答】分娩後授乳する婦人は月經の狀態が種々で一定しません、十ケ月内外無月經の者、二三ケ月で順潮に見る場合、一ケ月乃至三ケ月に一回來潮といふやうな工合です。貴女の樣に永い間授乳して無月經であつた方が一回月經を見て受胎する例も澤山あります又中には全然無月經の儘で受胎する場合もありますので單に一回の月經で必ず受胎したと斷定も出來ません受胎は排卵作用（兩側卵巣から交互に定期的に約一ケ月毎に一個の卵を排出するので時期は通常月經の最後日と次發月經との中頃）に密接な關係がありますから無月經で姙娠する事實は無月經でも排卵作用の起るのを示してゐます、月經來潮せり即ち姙娠せりとは決められないことも從つてわかりませう、貴女の場合にも離乳して月經が再び來潮した事は明瞭ですが果して姙娠してゐられるや否やは診察の上でなければわかりません、姙娠か否かは二ケ月以後になれば大抵專門醫で診斷がつきます

母國遊説から歸つて
橋本えいさんのお土産話（1）

滿洲事變一周年に際し同日を大いに意義あらしめるため滿洲から内地に派遣された四戸中將を班長とする第一講演班に滿洲の婦人を代表して參加した滿洲醫大醫院皮膚科醫長醫學博士橋本滿次氏母堂えいさんは頗る元氣で殆ど一ケ月間東京、大阪、名古屋、宇都宮、仙臺等毎日五回も六回も講演を續け在滿婦人のお母さん役として滿洲の皇軍の活動、在滿婦人の動き等を内地の婦人團に詳しく紹介する傍ら滿洲出征軍人の家族又は戰死せる遺族を親しく訪問、このほど歸奉した、これはえいさんのお土産話

私のやうなものが滿洲の事情を内地の皆樣に紹介するといふ重大任務を負ふてどうしてつとまるかと心配してゐましたが、私は私の眞心から滿洲で活躍して居られる兵隊さんのことを知らしめるために最善の努力を拂つて參りました、しかしどこへ行つても非常に歡迎して下さいましたので私も非常に心強く滿洲の邦人のお母さんの氣持で色々な事をお話し申上げて來ました

◇

特に私の感激しましたのは十月一日皇太后陛下の女官で居られます梨木樣が特に私に對しお話を聞かせて下さいといふ事でございましたので私は滿洲の婦人が如何に活動してゐるか、また皇軍は如何に臥薪嘗膽、皇國のため身命を賭して守つてゐるか、滿洲在住民も皇國のため日常と違つた働きをなしてゐるかなどの詳しいお話をしましたところ、私が歸る時そのお話を大宮樣に言上されたと聞きまして只管恐縮致しました次第です

女中さんの勤め口周旋
滿洲新女性會

内地農村の疲弊はなか／＼深刻で新聞に現はれてゐる以上の悲慘なものがあるさうで、多數の若い無垢の娘たちが愛する家族の僅かの米代を得るために賤しいつとめに賣られてドン底に落ちて行く者が數へ切れない現狀だといひます、これ等の不幸と危機に瀕んでゐる娘さんたちに正しい職業を與へやうと今度大連常盤町一番地に生れた滿洲新女性の會が内地の諸婦人團體と聯絡をとつて新興滿洲に彼女等の職業斡旋を招いてやることになりましたが、先づ手はじめとして一番手輕で目下最も需要の多い女中さんの勤め口を周旋することになりました。女中さんの身許は内地の婦人會で責任をもつて調査し就職後の保護までしてくれるさうで、既に數十名の來滿希望者があるさうですから所謂都會ずれのしない素朴な女中さんを欲しがつていらつしやる御家庭は遠慮なく新女性社へ御申込み下さいとの事です

朝のご飯に味噌汁禮讃

朝の御飯の一杯の味噌汁は僅に牛乳一合の營養價に相當するといはれる位味噌汁は滋養の多いものです。これを美味しく拵へるには先づ良い味噌を選ぶこと色のよい光澤のあるもの、嗅いで見てよい香を持つたもの、生のまゝなめて舌を刺戟せずやはらかな自然の甘さを持つたものが良品です。しかしいくらよい味噌でも永く煮立てると味が惡くなりますから煮立てて味噌がよく溶け合つたらすぐ火を止めると。ですから大根や甲芋のやうな時間のかゝるものを入れる時には溶けてから味噌を入れることです

滿日各地版

各地の明治節

【奉天】十一月三日明治節當日奉天では午前十時から奉天神社に於て明治節祭式が執行され各學校官廳にては午前九時から夫々拜賀式が擧行され一般市民は軒頭に國旗を掲げ祝意を表した

瓦房店の擧式

【瓦房店】明治節式典は十一月三日午前十時より瓦房店小學校に於て澄み渡つた秋晴れに擧行された越智地方事務所長大内警察署長上野郵便局長石井地方委員議長谷電燈專務其他所屬長警察官及諸團體役員は正裝威儀を正して參列定刻校庭に於て君が代ハーモニカバンドオルガンの音に嚴肅裡に國旗揭揚それより講堂に集る、式場は秋を彩る白菊の花を兩側に飾り淸められ壇上に雪本校長靜かに恐懼して御影開帳次ぎに君が代三唱一同最敬禮次ぎに教育勅語捧讀次ぎに雪本校長東海の孤立國より一躍一等國の班に列したるは叡聖文武なる明治大帝の威德であると大帝の遺訓仁德四十年の御治世を述べ奉り最後に浮華輕佻の風を愼み國是の遂行に專念すべき事を述べ次に明治節唱歌合唱午前十一時廿分御影閉帳式を終つて退散した

三百萬鄉軍の前衛 奉天鄉軍會の宣言

聯盟の監視、匪賊の掃蕩を目標に 愛國運動の烽火を揚ぐ

【奉天】帝國在鄉軍人奉天聯合分會では三日の明治節の佳辰を卜し午後一時から奉天春日小學校講堂に於て臨時總會を開催したが出席者は會員一千名の外來賓として板垣少將、寡田大尉、野口民會長、上田統氏等多數あり先づ木下聯合分會長の

開會

の挨拶に次ぎ事變以來の功勞者千百名に對し前關東軍司令官本庄中將、前關東軍參謀長三宅中將、前奉天駐劄隊長平田少將、前奉天獨立守備隊長島本大佐よりの表彰状の授與あり天野奉天支部長の訓示後板垣少將の「時局に就て」と題する有益な講演あり續いて木下聯合分會長が座長に推され大會の宣言、決議文を朗讀し一同に諮つた處滿場一致之を可決しこの決議は直に齋藤總理大臣、內務、外務、陸海軍、拓務、宮內の各大臣、貴衆兩院議長、參謀次長、軍令部次長、ジユネーヴ特派

書信

を以て通達したが時局以來最初の總會であり又國際聯盟會議を前に控へてゐることで非常に緊張し何れも奮然起つて皇國のためどこまでも護る色を見せてゐた、午後二時右聯合總會終了後引續き午後三時から東分會、西分會、滿鐵分會では夫々各分會の總會を開催した、尙大會の宣言及び決議文は左の如し

宣言

一、國際聯盟調査委員の報告は不當なる認識に基き帝國の正義を蹂躙し日支問題に關する聯盟の諸會議亦目睫の間に迫り擧國一致國難を突破すべき非常の秋に當り三百萬鄉軍の前衛たる在滿三萬の會員は牢固たる決心を中外に宣明し聯盟今後の態度を嚴正監視して輿論高唱の先導となり愛國運動の核心たらんとするに在り

二、三千萬民衆の總意に基く滿洲國は着々建設の緖に就きつゝあり

三、吾人は王道文化を目標とせる滿洲國を極力援助し速に共存共榮の東洋樂土たらしむることを期待す然るに現況は匪賊各地に橫行して治安を妨害し良民其業に安ずるを得ず故に相當兵力を更に滿蒙に增派し徹底的に之が討滅を圖り速に建國の發達を助長するを要す

決議

一、國際聯盟調査委員の報告は認識頗る多し依て在奉三千の鄉軍は斷然之を許容せず

二、吾人は皇道文化に立脚し東洋永遠の平和の爲帝國の正義を無視する國難に對くの決心を有す

三、滿蒙現下の實況に鑑み治安維持上更に增兵を斷行せられんことを要請す

奉天鄉軍總會 木下分會長の決議文朗讀

瓦房店の記念式

三日盛大に擧行さる

【瓦房店】在鄉軍人瓦房店分會では十一月三日午後一時より本部創立記念式並に瓦房店分會創立二十年記念式を市民俱樂部に於て盛大に擧行された、定刻飯塚守備隊長大内分會長越智地方事務所長荒川參事上野局長谷電燈專務石井議長各所屬長其他の名士在鄉軍人二百卅名着席開式の辭松尾副會長次ぎに君が代三唱次に大内分會長勅諭及勅語奉讀並に總裁宮殿下の令旨奉讀次ぎに會長の宣言朗讀松尾副會長の閉式の辭ありて五分間休憩それより分會創立二十周年記念式に移り開式の辭松尾副會長次に大內分會長の式辭次に支部長の祝詞(松尾代讀)來賓としては飯塚中尉越智地方事務所長雪本首訓主事石井地員議長(松尾副會長代讀)次ぎに廣瀨駒男森田彥三郎早川猷太郎横戶喜一郎の四氏創立以來の功績により會長より感謝狀と記念銀盃の授與次ぎに廣瀨駒男氏代表して答辭と所感を述べ閉式の辭松尾副會長次に記念の撮影をなし宴に移り大內會長の挨拶越智地方事務所長の謝辭ありて餘興に移り筑前琵琶藝者の手踊等歡を盡し萬歲を三唱して午後四時廿分退散した

滿洲人の日語熱

奉天だけでも十二校千餘人 今後益々增加の傾向

【奉天】滿洲國成立以來滿洲國人の日本語研究熱ははかに旺盛となり奉天だけでも日本人經營の日本語學校八校、滿洲國人經營四校、その收容人員一千八十七名に上る盛況であるが奉天省當局はこれ等日本語學校の取締指導のため全省各縣に亘り調査中であるが調査完了の二十六縣の現在學校數は二十一校、生徒一千六百四十四名であつて今後ますく增加の傾向にあると

奉天の明治會 更生式擧行

新明治會旗も新調

【奉天】明治節を卜して草分時代から滿洲にあつて活動した人々から結成された明治會が三日午後四時から金龍亭において更生式を擧行した、古市寅太郎氏の開會の辭に會務の報告あり、座長推薦の結果三谷末次郎氏座長席に着き會則に關する報告にたいし意見を求め滿場一致可決、其れより役員の詮衡に移つたが三谷座長の指名により峰、入江、志和、山下、西尾、佐藤莫、三谷氏等九名の詮衡委員があげられ協議の上、會長に三谷氏、副會長に藤田九一郎、石田武亥の兩氏、評議員手塚安彥氏外二十九名、幹事十五名の推薦、三谷會長の挨拶あり、古市氏の明治會再生の說明、峯節藏氏の報告に大廣間において記念撮影をなし其れより懇親宴に移つたが、三谷會長の挨拶、來賓を代表して荒木地方係長、野口民會長の謝辭に宗者歡を盡して九時散會した、この會の明治會旗が新調されたが、この會旗は船津前總領事の寄附金と峰氏の斡旋によるものであつた、峰節藏氏は右につき語る

明治會の前身は大正十一年五月十五年會を開かうといふたのが動機となり大正十四年六月發會式を擧行した、其の當時會員二百四十名、其の後物故したもの三十四名、轉出者廿四名で本日の會員は約九十餘名、これから相續者も出ることだと思ふが、この明治會も滿洲國の成立によつて意義ある更生の路を辿りたいと考へてゐる

安東の土建界

明年に相當期待

【安東】昭和八年度安東に於ける滿鐵の事業豫算中普通學校の增築養成處分所の新築等の外滿鐵醫院の增築及び上下水道の布設などに依る大建築を初めとして大體十三件の認容通知があつたので八年度の安東土建界は相當期待されるに至つた卽ち屢報の如く醫院は第一第二病棟約三十室の增築にあるがこれが延坪約千五百坪と共に總豫算二十萬圓程度と見られ一方上下水道も相當の豫算を以て施工を見る

好成績をあげた 奉天のマラソン

明治節當日の盛況

【奉天】奉天市民マラソン大會は既報の如く三日午後一時から中央廣場に於て開催されたが當日は風稍強かつたが小春日和の暖かい天候に惠まれて參加者非常に多く一萬餘の距離を韋駄天走りに走りつゞけたが今回は特に少年も參加し個人では市內の李世明君が三十五分九秒七の新記錄を作りチームレースでは彌生小學校が優勝し又少年部では岡見君が一着を占めるなど何れも近年にない好成績を擧げ午後三時頃散會した尙その成績左の如し

▲個人レース 一着李世明(卅五分九秒七)二着張慶和、三着郗福林、四着宮淸明、五着金德樣、六着林武雄、七着林彩民、八着林景陽、九着李永春、十着李茂盛

▲チームレース 一着彌生小學校(卅二分十秒)二着醫大A組

▲少年レース 一着岡見尙彥(四十一分卅二秒六)二着林元植、三着申錠濟、四着明華植

內地柑橘類の運賃を割引

朝鮮總督府で告示

【安東】內地より朝鮮、滿洲へ輸移出される柑橘類(蜜柑、夏橙、オレンヂ、ネーブル)の貨物運賃につき朝鮮鐵道局では十一月一日より翌八年四月三十日までの期間車扱ひに限り鮮內は普通賃率の三割五分、滿鐵社線各驛着は四割、その他は一割の

運賃

割引低減を實施する旨二十九日附朝鮮總督府告示第五七二號を以て發表したが、安東驛は仁川、鎭南浦、木浦、元山、城津等の鮮內各地と同樣に鮮鐵局線內に含まれ普通賃率の三割五分減を適用される事となり、滿鐵社線各驛着に適用される四割減に比較して五分のハンデイキヤツプを受けることゝなつて、然し在安當業者方面では安東驛着と指定せず假に沙河鎭驛留とすれば四割減の適用を受けることゝなる爲め何れにしても相當運賃の低減されることを歡迎してゐる、尙此の普通賃率に依り特定區間通計三千五百哩以上を託送したものに對しては既收運賃と

今般

の割引運賃に依る差額を割戻されることゝなつたが、何れにしても此の賃率低減が消費者に齎した囁きは……冬の果實界の王座を占める蜜柑類の新鮮な芳香と味覺が極安くて堪能出來るぞッ……と云ふ喜びであらう

撫順新米出廻

近來漸く旺盛

【撫順】撫順縣下及び奥地農村より當地に輸出さるゝ新米は前月中旬頃の降雨で一時毎日三、四十車に減じたが昨今は殆ど收穫も完了し好天に惠まれて出廻り旺盛となり平均一日百餘車の搬入を見つゝあり相場も先頃まで一石(二百斤)八圓三十錢臺であつたのが一躍九圓五十錢に暴騰し鮮農等は雀躍りして喜んでゐる

白鉢卷の大刀會匪 喊聲をあげて襲來

鳳凰城匪賊事件詳報

【鳳凰城】最近匪賊當地襲擊の情報頻々で在住民は極度の不安にかられてゐたが電報にて既報の如く一日深更から二日拂曉にかけ郗鐵梅、李子榮合同匪賊の大部隊が襲來した、一日午後十一時四十分突如當地高麗門間(安東起點五十四粁の地點)張家堡子附近の電柱六本切斷電線を切斷されて高麗門との通信は全く不能に陥つたので匪賊の襲來に備へるべく

警察

では直に非常警戒を自警團、滿鐵社員も非常招集を行つた、鷄冠山に待機中の裝甲列車は直に來援し高麗門の情況偵察の爲め當地を出發した、途中張家堡子附近第二橋梁が燒き落され線路上には木材、石塊等を積み重ね運行妨害をなし居るを發見したが鳳凰城方面に盛に銃聲が聞えるので急遽當地に引返した、この時既に當附屬地も城內も交戰中であつたので裝甲車からも砲擊を開始し敵に猛射を浴せ軍警協力して交戰三時間の後これを擊退した、匪賊來襲は二日午前一時十分で最初城內方面より

銃聲

起り續いて附屬地の周圍から激しき銃聲が起り大刀會匪を先頭に喊聲をあげて附屬地內へ殺到した、白鉢卷の大刀會匪は槍を振りかざし戶每(主に警察官の住宅を目がけて)の窓ガラスを破壞し鳳凰旅館のトタン張りの戶も破られ新築中の警察署長の官舍には爆彈を投じた、薄氣味惡き喊聲は遂に驛前二十米に接近して來た、我警官隊は田上署長の指揮のもとに應戰その一部と滿鐵社員、自警團員は驛に迫り來る賊に當り奮戰し一部は警察本署附近に於て大激戰、城內を襲擊した賊團は我守備隊及び滿洲國警察隊の奮戰により擊退されたが山東街に突進して來た賊團は稅捐局その他を襲ひ多數の金品を掠奪し

馬車

にのせて退却した、此の戰鬪に於て驛前に死體三城內に同じく三を遺棄し此の外多數の死傷者ある見込、我方は守備の上原中隊光枝軍曹が大腿部に擦過銃創をうけ滿洲國警察隊員戰死一、負傷二を出した又黃煙組合員鮮人金冊玉氏は賊が退却の際槍でさし殺された、匪賊の數は不明なるも一千以上と思はる、賊の服裝は灰色の軍服に軍帽をかぶり皆新しい地下足袋をはき白い脚絆をまき相當訓練されてゐるらしい尙山中に避難した鮮人の語るところによれば匪賊は退却の際死傷者二十餘名を運搬してゐるのを目擊した

僞藥、僞醫師等 橫行猖獗時代

奉天署で徹底的取締

【奉天】滿洲事變以來奉天に出入する各國の旅客、商人等が激增し不案內な奉天に居住してゐる隙に乘じて風邪、腹痛その他花柳病等の妙藥と稱して名も判らぬ藥を賣りつけたり又は立派なお醫者さんとか醫學士とか藥劑士とか勝手な肩書をつけてふれ廻り藥料、診察料などと稱し出鱈目な代金を捲き上げたりする不良分子が、橫行し營業上の不法は勿論危險極まるもの、あり奉天署衞生係では是等の不良分子を徹的に取締る一方國際都市として恥ちないやうに公衆衞生に力を注ぐため長川主任の外宮川河野、手塚の三巡査及び滿本部長の外藥劑師荒山氏を置きスツカリ新陣を整へて之が取締りをなすことになつたが長谷川主任に語る

近頃人口の增加と共に名も判らぬ僞醫者が出沒し不當な料金を強要してゐるので是等を徹底的に檢擧に努めると共に疑はしい藥品の賣買も行はれてゐる模樣であるから是等も徹底的に取締るために專門の藥劑師まで置いたこれでどうにか陣容も整つたのでこの外公衆衞生の方にも力を入れて衞生係の使命を達したいと考へてゐる

醫大對工大 ラグビー

【奉天】全國大學專門學校ラグビー大會の滿洲豫選として來る六日午後二時から奉天國際運動場に於て滿洲醫大對工大豫科、十三日午後二時から同國際運動場で醫大對工專のラグビー試合が行はれることとなり必勝を期し各チームとも陽光を浴て猛練習中であるから本年のラグビー界を飾る試合として頗る興味を以て迎へられてゐる

瓦房店電燈 定時總會

【瓦房店】瓦房店電燈株式會社第三十六回定時株主總會は十月三十一日午後二時より會社事務室に於て開催出席者十八名定刻谷專務取締役昭和七年度上半期事業詳細報告損益計算書貸借對照表及財產目錄並に利益金處分の件は滿場一致を以て異議なく可決尙取締役高橋仁一監査役森田彥三郎任期滿了に依り改選の結果取締役石橋米一氏監査役森田彥三郎氏再選就任した尙上半期株主配當金は同社に於て支拂につき印鑑携帶受領されたしと

日滿航空郵便 記念スタンプ

【安東】安東郵便局では日滿航空郵便連絡記念の爲め三日より五日までの期間內に受付た航空通常郵便物及び其の後三日間に於て料金完納の郵便葉書並に一錢五厘以上の郵便切手を貼布した物件に對し記念スタンプ押捺の需めに應ずると

會と催し

●營口警備委員會【營口】去る三十一日商務總會にて開かれたる滿洲側警備委員會は冬期に於ける遼河方面の警備に就き協議し十九箇所の立哨掩壕に軍、警より〇〇〇名の警備員を派し內十箇所に五百燭の照明燈を設け各壕內に電話架設し萬全を期す筈で之が所要の經費二千元は商務總會が負擔する筈又三不管方面の土壕構築には日滿兩側で工費一千八百元を得たので之の完成を進めてゐる

●安東洋畫展【安東】滿鐵社員係主催の第六回安東洋畫展覽會は來る十九、二十日の二日に亘り山下町社員クラブに於いて午前九時より午後四時まで開催することゝなつた

●安東の防火演習【安東】滿鐵消防隊では來る五日驛前廣場に於て新購入ポンプの性能試驗と共に消防演習及び檢閲を兼ね大々的な防火宣傳を行ふと

沿線往來

▲小松原大佐以下交涉員一行七日頃出發の豫定

▲大谷光瑞氏 三日新京より來奉

▲小林海軍少將 三日はと號で旅順へ

▲新任安東領事岡本一策氏は三日午前十時五十分着列車で皐良來任

▲營口稅關長に榮轉の松原梅太郎氏の後任として中村元氏は二日午後九時大連より着任

▲瓦房店公學校は福井校長轉出後久しく缺員であつたが次席教諭伊藤德市氏校長に榮進十一月二日、日滿官公署を歷訪して新任の挨拶

各地片々

◇營口 營口消防隊と滿洲國消防隊は合同で來る五日防火宣傳デーを擧行することになつた、尙宣傳方法として當日各機關は新營市街を問はず宣傳ビラを撒布各戶には火災豫防の取締及注意指導を爲す等、尙市內の人力車、馬車、生徒等には約二千本の宣傳旗を與へ大いに宣傳效果を上げる筈である

◇安東 安東署では冬を稼ぐ煙突掃除夫の營業許可に就き考慮中であつたが本年は事變後のことゝて兵匪などの敗走して市內に入り込んでゐる形跡もあるため、從來の許可書と共に腕章を帶びさせ一般市民の目標とするに決し直ちに實施することゝなつた、で腕章のないのはモウロウ掃除夫と云ふ譯である

◇安東 新義州府內に營業してゐる內地人側雜誌販賣店では去る一日より凡べて雜誌の送料は讀者より申受けぬと云ふ事に協定成り實施してゐるが、之はかれてより新義州雜誌取扱店の送料免除は大英斷とも云ふべく誠に喜ばれてゐる

◇撫順 撫順千金寨の滿人有力者たる郞敏之氏は今回同地興順街に平民學校內に平民義務學院なるものを創立本月五日より開校の豫定で目下生徒募集中であるが、右は同氏が失業青少年救濟の見地から計畫したもので貧困にして公立學校に通ふ資力ない少年及び失業青年に實業教育を施し就職の道を拓くための學校で本年は初等中等兩科各五十名を收容すると

◇奉天 ジヤパンツーリストビユーローでは一日から奉天驛前、ヤマトホテル、城內小西關裡の三ケ所において一切の事務を開始し三日からは日滿航空連絡の乘客にたいする一般切符座席の豫約に應ずることになつたが、特に奉山線(奉天、山海關)の切符をも代賣し旅客の便宜を計ると

リツトン報告書に 満洲國人憤起
吉林の官民聯盟に警告

【吉林】リツトン報告書が満洲問題に對する認識不足を曝露し我が國民の反感と不滿を激成し各所に反駁の氣勢が高潮して居るが、最近仄聞する處に依れば吉林在住滿洲國人間にもリツトン報告書の認識不足を痛罵し聯盟に一大通告を發すると共に大いに國民の氣勢を上げ東洋平和の基礎と滿洲國の意氣を示さんと吉林電燈處某氏は秘密裡に暗中飛躍して各要人を訪ひこれが決議文の作製を急ぎつゝあり一般在住民を代表し要人の贊同を求めて近く會議を開き其の偏見曲論を怖れず公道に邁進に進みて滿洲國人の意氣と所信の邁進に努力すべく遠からずこれが表面化する模樣である

滿洲國側でも 暴利取締令
法制局で目下研究中

【新京】十一月一日を期して新京新市街に於ては一齊に暴利取締令を發布之を各方面に適用し、時節柄不當利益をむさぼる惡商人を取締る所あつたが、かゝる商人の跋扈は啻に新市街方面のみならず附屬地外の商埠地城内方面にも多々ある見込みで、又滿洲人の中には相當の數に上るべく豫想され之が取締方要望の聲も聞えるので、滿洲國法制局では大體新市街方面のそれと精神を同一にした法令を發布取締る必要ありとし、近く滿洲國側にも實施される事になる筈

問題の米國記者 我軍の腹を探る
蘇炳文訪問の途次

【チチハル】黒河に馬占山を訪ふて問題の種子を蒔いたと傳へらるゝ問題の米國記者紐育タイムス特派員エッチ、スチール氏は十月二十九日午後十時ハルビンからチチハルに態々やつて來て龍江飯店に納まり込み、翌三十日には當地駐在の第〇〇部に〇〇參謀を訪問して

（ス）蘇炳文問題は平和的解決の可能性ありや否や、若し武力的解決に依るとすれば時節寒期に近かく軍事行動も至難ならむが此點如何

（參）我に和戰兩樣の準備を有すされど、現在は黒龍江省政府が交渉の任に當り居れり

（ス）最近ソウエート政府が蘇炳文に對して財的援助を與へつゝありと聞くが如何

（參）知らず（とはれて更らに）蘇炳文との面談に意ありや否や

（さ、〇〇參謀から逆襲され）

明治節に 全市民大會

【新京】十一月三日の明治節にあたり新京に於ては午前十時半より長春神社境内に於て全市民大會を開催次の如き順序に從つて十一時盛會裡に散會した
一、國歌合唱
二、開會の辭
三、所感
四、決議文朗讀
五、萬歳三唱
（寫眞は新京全市民大會式場）

喰ひ詰者の 犯罪増加
横領、搔つ拂ひ等

（ス）機會だに許せば巧に逃げて、正午過ぎ辭去、富拉爾基方面に向つた

【新京】遽に激増した新京の人口は今後増々増加の一方であるが、之等の中には内地を喰ひあぶれたいかゞわしい者も相當ゐる模樣で警察も八方目を光らしてはゐるが徹底的取締も現在では不充分といふ狀態である
佐賀縣人浦賀弘（二五）は吉野町エス屋外交員として同店に勤務民政部某氏より注文を受けた

と稱し背廣及オーバーを調製せしめ、又游動警察隊員數名より四百五十餘圓を集金し、これを懐中して東支線にて逃亡せんとした所を見張の刑事が逮捕▲岩手縣人小原武夫は滿電營業所に於て某社員高橋某のオーバーをかつぱらつたのを始めとし、公學堂校長室の入口にあつた某銀行支店長の服を失敬▲又山形縣人結城貞二郎は前後五回に亘り金泰洋行に於て時價三百五十三圓の洋品雜貨數點を懐中にれちこんでドロンをきめこんだが、何れも刑事に逮捕され領事館に送られた、この種の犯罪人も尚相當ゐる見込みで嚴重探査中である

警官保護下に 鮮農刈取終了

【鐵嶺】開原縣施家堡子の鮮人農民は鐵嶺署森田警部補以下三十三名の警官隊に護られ稻の取入に勵んでゐたが同地は匪賊の襲撃を蒙ることもなく作業は至極順調に進捗して全部の作業終了し一日正午鮮農も警官も喜びつゝ殘りの一部の籾を攜へて歸鐵したが籾搬出總額は二千二百石である

敵四千に圍まれ 二週間血戰
友軍の救援で大勝

【新京】拉哈における我が警備隊（市川少佐の率ゆる〇〇〇隊〇〇〇隊〇〇〇隊）は去る十月十五日以來迫撃砲、機關銃、自動小銃、手榴彈等多數を有する四千の兵匪に包圍せられ二週間餘に亘つて數十倍の敵と勇敢に戰闘を續け兵匪に多數の損害を與へたが、我が部隊にも死傷者を出し非常な危機にあつた所にチチハルから派遣された西林大尉の指揮する部隊と新井少佐の指揮する部隊が卅日到着し翌三十一日午前十一時より三部隊聯合して攻撃に轉じ、數百の敵をたほし之を撃退し救出の目的を達した因に三十日迄十五日包圍期間に市川部隊の死傷戰死十八名負傷二十九名を出した

克山に匪賊 我軍交戰し撃退
我軍の戰死傷七名

【奉天】二日夜半克山に約六百の匪賊が來襲して我守備隊と交戰し激戰の後之を撃退したが敵匪は現場に六十の死體を遺棄して逃走した、我損害戰死兵二名、負傷曹長一名、軍曹一名、兵五名を出した

鴨江剿匪部隊

【安東】寛甸縣太平哨の第一線に駐屯し數倍に餘る敵匪と相對し累次の戰闘に赫々たる武勲を輝かし更に桓仁、沙尖子に轉戰しつゝあつた鴨江剿匪司令姜全我中將は着々掃匪の目的を達し愈々凱旋する事となりその先發部隊は三十一日午後五時歸安したが姜司令は一日午前九時昌城發の自動車にて新義州經由午後二時過ぎ無事歸安した尚姜司令の手兵百五十名は戎克に分乘鴨綠江を下航して歸安の豫定であるが同剿匪軍は所期の目的を達したので今般改編され新たに鴨江地區警備司令部と改稱し奉天省警備司令部の管下に屬し司令としては于芷山司令の部下たる齊中將が就任するに決し姜中將は其の兼任を解かれることゝなつた、なほ今回の掃匪に拔群の功を樹てた副司令汝文海少將は桓仁縣の警務局長兼公安大隊長として同地に留まり治安維持に任ずることゝなつた

抗日義勇軍三千 法庫城を狙ふ
高文斌等頭目會議の結果

【鐵嶺】既報の康平縣城を占據し暴政を施行しつゝあつた抗日義勇軍第五團長高文斌は過般の頭目會議の結果決定せる法庫縣占領に對し行動を開始した模樣で、その先鋒部隊たる頭目劉香閣の率ゆる二千名及び頭目山字の指揮する一千名の賊は去る二十八日康平縣哈拉心屯を出發既に法庫縣丁家房身、葉茂臺子部落まで進出し數日内に一擧法庫城を乘取る意氣込みであり盛んに宣傳を流布しつゝあるので城民は不安の極に戰いてゐる

公安局長に匪賊 部落入を要請
公安局困惑、村民不安

【新京】老二哥を頭目とする匪賊團は氣息奄々として尚卡倫地方に蟠居し居るが二日午後一時頃卡倫北方十支里の地點にある部落の公安局に大膽にも部下三名を遣はし局長に面會部落入城方を要請した手薄となつてゐる公安局ではその處置に困りぬいてゐるが、之を[illegible]

金山好 一味を撃退

き知つた住民は極度の不安にかられ中には早や逃げ仕度にかかつた者もある程で相當動搖を來してゐる

【鐵嶺】鐵嶺縣東部の匪賊討伐に出動中であつた保安隊二百三十名は三十日午前十時半頃縣下花豹沖部落に於て匪首金山好、趙亞洲の合流賊團一千名と遭遇之に猛撃を加へ山谷子に向け退却する賊を更に追撃し迫撃砲の威力を發揮して猛射を浴せ撫順縣内に撃退したが此の戰闘で賊は二十一名の死者を出し馬十二を放棄、負傷者三十餘の見込みで官兵側には死傷一名もなく三十一日深更凱旋歸鐵した

李春潤部隊

【安東】李春潤部隊は我討伐軍の[illegible]を遁れ二十九日太子河を渡渉し黄夜兼行を以て本溪、遼陽の縣界附近を通過し三十日午前八時頃甜水站を經て南下し鳳城縣に入つた形跡あり鄧鐵梅に合流したものと見られてゐる

保安遊撃隊 初手柄

【公主嶺】既報特產物搬出護衛の懷伊騎兵保安遊撃隊は二十七日編成式を擧行、隊伍を整へ出動したが該隊は搬出街道の警備中三十一日の午前十時公主嶺を距る五十支里鄭山屯の西方郭家屯に於て頭目東合の率ゆる一千名の匪賊と遭遇約一時間に亘る激戰中張家崗子駐屯の歸順警備隊の應援を得て賊に多大の損害を與へ小頭目南狭以下三名を逮捕二十家子を經由一日歸公した保安遊撃隊が出動早々の手柄であつた

裝甲自動車で 特產物搬出
實業廳が軍部滿鐵と協力し

【開原】開原の東方は今や匪賊の横行甚だしく恰も特產出廻りの需要時であるも奥地農民は匪害を恐れて其搬出を爲さず今春は軍部より裝甲自動車二臺を派し之等通路を警戒し搬出を警備されたのであつたが、今回滿洲政府實業司は軍部並に滿鐵と協力し裝甲自動車二臺及トラック一臺を開原に派し十一月十五日より明年三月十五日までの四ケ月間專ら奥地產物搬出擁護に當らしむる事となつた、其費用として馬車一臺に大洋五錢を徴收すると

涙新にそゝる 五勇士の葬儀
葬場に漲る哀愁

【チチハル】齊克線五家子驛に於ける慘又慘たる肉彈戰に可惜重傷を負ひ、遂に立つ能はず、翌日白玉樓中の人となつた、高田曹長以下五勇士の屍體は二十八日天漸く暗からんとする午後四時から北部ならぬ南大營の日本軍チチハル駐屯地營舍附近の、萬目蕭條たる晩秋の曠野に於いて悲しくも一片茶毘の煙に附せられた、此日、嚴肅なる式場には、在りし日の戰友を始めとして數多の官民、在鄉軍人等に至る迄、知るも知らぬも、此護國の鬼と化した忠魂義膽の各靈位に對して最後の敬意を表する爲めに集まつた。斯くて、戰場ながら莊嚴に設けられた祭壇には香煙縷々としてたなびき、看經の聲も悲しく晩秋の風に和して四方に廣がり行く時、凡ての人々の眼には自ら熱い涙が湧くのを禁ずる事が出來なかつた。尚此チチハルの日本人共同墓地に於ては同日午後八時半からは、腰新屯の戰闘に悲しくも、再び歸らぬ人となりし青木上等兵等の荼毘の式が擧げられた北滿晩秋の夜、慘として鬼氣人にせまる郊外の暗に包まれたる一團の火光は人影と相映じて勇士の偉を偲ぶ時斷腸の感を一きは深からしめるものがある。あゝ、これが邦家の爲めに骨を碎き血を流した勇士に對する最後の告別であるかと思へば、自ら涙なきを得ないのである

三勇士 遺骨凱旋

【鐵嶺】灌海線守備に活動中名譽の戰死を遂げた鐵嶺守備隊遠藤伍長、安田、荒木兩上等兵の三勇士遺骨は三日午後三時三十六分發列車で多數官民の涙の見送り裡に凱旋歸國の途に就いた

吉林經濟界近狀
市況一般に緩漫

【吉林】一般財界經濟狀態は依然として舊態を維持し大なる變動もなく、通貨金融の流通甚少の有樣である、諸品の昂騰は表面的空氣をなして一般に及ぼす影響大なるものであり、吉林一般の雜貨品は他に比して約二割以上の昂騰振りで」には取引關係に依るものもあるが一部省城内の取引は相當好況を呈し季節向の棉綿布、綿糸の如きは八月に比して增加の有樣である、綿糸一五〇梱、綿布は四六〇梱で此の價格十一萬餘圓、參考のため九月中に於ける吉林驛到着の貨物内譯を示せば左の如くである
綿糸布二、紙一、麥粉十五、雜穀十一、鐵作品四、麻袋軍用品二、石炭八〇、又吉林驛吉敦線向き中繼を示せばセメント二八、麻袋一、石炭十五、鐵作品七、レール四、軍用品二十九、麥二メリケン粉二、保線材料二、次に九月中に於ける市場金對鈔票及び國幣の相場並に取引高を記せば金對國幣一〇五・七〇、最低一一二・〇〇、金對鈔票最高九六・二〇、最低一〇七・〇〇（百圓に付）取引高金票一・〇九〇・一〇〇圓鈔票一・〇四五・〇〇〇圓國幣二・一九八・〇〇五元で、雜貨市場に對する九月末日本側組合銀行の帳尻と爲替受拂ひの狀況を示せば預金一・一四九・五七四圓（前月末に比し三三・一三五圓增）貸出四〇六・二五三圓（前月に比し一三・二六一圓增）爲替受拂、受入二九九・〇九九（前月に比し七三・一〇九圓減）拂出三七八・二九八（前月に比し五八・三九六圓減）
斯の如く輸入方面は主に綿糸布鐵[illegible]

鄭家屯鮮農 收穫狀況

の取引にて邦人向雜貨類の外一般に市況緩漫で今後特產出廻りと木材季節を控へ金融界も次第に活氣づくものと推察さる

【洮南】鄭家屯領事館管内居住鮮農の稻刈入れ搬出狀況左の如し
◇小茂好部落では匪賊の掠奪をおそれ一方河川の增水を利用運搬すべく九月十日頃より刈取を急いだゝめ意外に早く十月廿日頃籾落した終り、舟便を利用し二十九日迄に收穫籾全部百八十餘石を洮南城内に搬入した
◇白塔子（慶遠村）部落は九月十日より刈取を開始、十月廿五日終了、籾落後のもの百餘石あり、目下右運搬の準備中にして一週間後には途中迄馬車により、更に氷路により洮南城内に搬入の豫定で籾落しは十二月廿日迄に之を終り爾後の搬出は結氷後となる模樣である
◇七道鎭部落に於ては同じく九月十日より刈取を開始し十月廿八日頃之を終り、籾落しは目下の處約百石にして數日中鐵道により洮南に搬入の豫定であるが、殘餘は籾落し濟の上逐次鐵路により洮南城内に搬入の豫定
◇王爺廟部落は十月末迄には刈取を終る豫定で籾落濟のもの約百二十石は王爺廟居住滿人楊雪雲なるものに籾一石に付王爺廟[illegible]間運賃銀四元の契約で積み出し中なるを以て兩三日中には洮南着の豫定であるが、殘餘の籾落は十二月中旬頃迄には之を終り今後六、七回に亘り搬出の豫定
◇柳樹川部落の刈取は九月十五日より始め同月二十五日終り目下稻のまゝ積み上げ居り小屋苑籾落を爲しつゝあるが、全部落の慣例として地主に籾を一應納入、地主に於て之を洮南に搬出賣却の上時價に依り小作鮮農に分配するものなるを以て本秋もこの例に習ふものと察せらるも、同部落との交通なき爲め詳細不明である

饅頭をたべて 中毒死
行商人に御注意

【鐵嶺】鐵嶺附屬地花園町滿鐵列車區勤務久光清次氏の長男哲也君（六つ）は去る二十九日滿洲人行商人から包子饅頭を買つて食べたところ肉中毒を起して食べてから三日目遂に死亡した一寸した不注意から實に氣の毒な悲慘事を引起した一般家庭では大いに注意すべきである

電報分局改稱

【チチハル】從來「チチハル電報分局」と稱せられてゐた日文電報局は今回「チチハル日文電報局」と改稱される事となつた

聯合婦人會の 大活動

【公主嶺】公主嶺聯合婦人會は滿洲事變突發以來出動部隊送迎及滿驛通過の各部隊の送迎に對し寒暑風雨晝夜ともに努め義勇軍編成後に於ける鐵後の活躍戰死將士の慰靈傷病兵士の慰問等枚擧に遑なく、去月下旬懷徳縣保安隊に慰問品を寄贈訪問日滿親善に好結果を納め三十一日は獨立守備隊司令部に慰問品を贈呈すべく全會員を代表し小川、萩原、新井、丹羽、小松、近藤の各夫人は訪問した

肺結核には澤山な藥があります色々と藥の名稱は異つてゐますが其の主成分は殆どクレオソート又は其の誘導體です此のクレオソートに解熱劑等を配して肺結核藥の新發見などと吹聽する藥もありますが過去に於ての治肺效果を吟味すれば一目瞭然です結核を不治の病と人々に思ひ込ませたのは一體何が原因でせう？　クレオソートに治肺效果がもう少し顯著であれば人々は結核は治るものなりとの信念を固めてゐたに違ひありません

こゝに大阪市立衛生試驗所・山口博士の苦心があるのです
イプシロンの出現によつて的のない自然療法を唯一のものとした同病者に暗夜の一燈を授けたものです

◇認識せられよ　結核病者◇

病魔征服の爲めには最高の科學に據つて産み出された權威ある藥品を擇ばねばなりません從來種々な療法や養生又は數多の治療劑が現はれては消え消えては現はれ患者はその應接に遑も無い有樣でありました要するに單に販賣商策に災ひせられ患者は藥效の無力に泣かされたのであります例へば榮養劑が結核藥の假面を冠り强壯劑が堂々結核劑として宣傳せられ胃腸藥が治肺劑として大きな顔をしたり今日より見れば滑稽の極でありました**時代は進む醫學の「メス」は愈々さえて**茲に新しく山口博士が拾有餘年苦心研究の結果**イプシロン**が發見されたのであります
イプシロンはフォルマリン獨特の殺菌力を基礎として創製せられ特に滋養劑として臟器榮養劑を配劑してありますから直接結核菌を撲滅します傍ら體質改善へと役立ちますゆゑ敢て他の滋養劑を補給する必要はありませんし治療效果の的確な事は一時的治肺劑とその趣を異にし結核治療界に一新紀元を劃したものとして專門大家の賞讃を受け一躍結核治療界の王座を占めたるは偶然ではありません

學者の研究によりますと二十歳以後の大人の凡ての人々は既に結核菌に侵されてゐて體内に病竈を持つてゐるとの事です　それでありますから些細の不注意の爲めに結核の發病に遭遇するのであります　肺尖　肺結核へと進展します轉ばぬ先に健康者も冬を控へて結核發病の機會が原因でもその經過が長ければ結核發病の機關がありますし　肺尖　單なる感冒が原因でもその經過が長ければ結核へと進展します轉ばぬ先に健康者も冬を控へて結核豫防の爲めに特にイプシロンの服用をおすゝめ致します
また結核發病の恐れある人即ち患者と同居の家族の方々乃至は虚弱であつて結核性病を憂慮される方々はイプシロンによつて體質改善せらるゝ様おすゝめ致します

イプシロン

大阪市立衛生試驗所
山口博士發見創製
内服新治療劑

◇斯界之權威五拾餘博士實驗推奬　文獻進呈◇

錠劑	
100錠（16日量）	¥2.50
230錠（38日量）	¥5.00
500錠（93日量）	¥10.00
粉末	
50瓦（20日量）	¥2.75
115瓦（46日量）	¥5.50
250瓦（100日量）	¥11.00
500瓦（病院用）	¥20.00

（全國藥店にあり）

驚異すべき此の安價　二十日量（粉末五十瓦）二圓七十五錢

適應症　肺結核。肺浸潤。肺尖加答兒。慢性氣管支加答兒。濕性並に乾性肋膜炎。結核性腹膜炎。脊椎カリエス。骨並に關節結核。痔瘻。肺門部淋巴腺結核。其他結核性諸疾患

◇全國官公私立大病院御採用◇
山口博士著　肺結核療養法
本冊子は山口博士が今般新らしく詳細に亘つて述べられたる貴重なる療養書であります
文獻御請求の御方に　無代進呈

發賣元　大阪市東區道修町　合資會社　伊藤由商店　振替大阪一三九二
關東代理店　東京日本橋區本町　藥種貿易商　株式會社　田邊元三郎商店　振替東京一六六六三

眼病を治し　目を美しくし　紫外線の害を防ぐ

眼科藥の最高峰＝販賣高東洋一

特製 大學眼藥

醫學博士 河本重次郎氏
醫學博士 小玉龍藏氏
醫學博士 吉田義治氏
醫學博士 山中崔之氏
醫學博士 豐田正達氏
推奬

日本內地では誰方でも一つお持ちの

新發賣

人造 龞甲ケース付

新裝品

優美な様式……
高雅な色調……
モダン・ケースの誕生!!!

『安打です、歡迎です、大歡迎です。』

特製「大學眼藥」の新らしい飛躍!

モダン・ケースは、流行界に目藥界に素晴らしい新記錄を作りました。今の時代は、人々が時計を必要とすると同じ程度に目藥の必要を感じる時代に迄、進んで來て居ります。

家庭では……お祖父様からお孫さん迄
會社では……社長様から小使さん迄
銀行では……重役様からタイピストさん迄
學校では……校長様から一年生の生徒迄
百貨店では……店長様から賣場の娘さん迄

あらゆる階級の人が、あらゆる場所で……街頭で、芝居で、映畫館で、運動場で、教室で机の前で、鏡台の前で……

この龞甲ケースを取り出して、二段蓋を引きあけ、特製「大學眼藥」を點して居られます。

目を大切にせなければならない近代人のこの姿が、街から街へ氾濫して、其處に新らしい日本の姿を知る事が出來るのです。

特製「大學眼藥」はいつも手離せません。

▼寒い風が目を痛めます、御歸宅になつて……是非一滴!
▼勉學の好機、讀書の季節です就寢前に忘れず…是非一滴!
▼秋の紫外線、冬の白雪の反射が目の大敵です…是非一滴!
▼スポーツの觀戰、スキーヤー演劇、映畫の觀賞等、目の疲れた時こそ……是非一滴!
▼細い仕事や強い光線で眼病を起さぬ樣に……是非一滴!

トラホーム、其他あらゆる眼病を早く治すには勿論の事、常に特製「大學眼藥」で目を守り下さい

人造 龞甲ケース付	
一瓶入	三十五錢
二瓶入(ケースは一個)	五十錢

ケースなし	
小瓶	二十錢
大瓶	三十錢
德用	五十錢
(小兒用)	二十錢

各藥店にあり

一劑にて三作用を兼ねる

驚くべき藥効の進歩
＝痛まず、シマズ、心地良くキク＝

1 治病作用

第一に……眼病を治す藥効に於て、學問上最高標準の卓越せる効果があります。而も「氣持よく早く治す」といふ事が、他に比類なき特製「大學眼藥」の特色であります。

シムとかイタムとかカユイとかいふ感じは少しもなく目に見へてズン〳〵眼病を治して行きます。

(一瓶毎に「大學洗眼藥」といふ目を洗ふ錠劑が添へてありますから、合理的治療が一層早く完全に行届きます)

適應症

○トラホーム ○結膜炎 ○角膜炎 ○やに目 ○はし目
○光線による眼炎 ○凝り目 ○疲れ目 ○突き目 ○血目
○たゞれ目 ○はやり目 ○のぼせ目 ○かすみ目 ○打ち目
○なみだ目 ○はれ目 ○麥粒腫 ○くもり目 ○雪目

2 美眼作用

第二に……目を美しくパッチリさせる働きがあります。

どんよりと濁つた眼や細い醜い眼も特製「大學眼藥」を一滴點せば忽ち涼しく冴えていき〳〵となります。その上、眼の中が爽快を感じ、目性がよくなり、目が疲れない樣になります。

3 紫外線防止作用

第三に……光線中の紫外線を防止して目を保護する力があります。

強烈な光線の直射や反射によつて目を痛めるのは、光線の中の紫外線の爲めであります。光を見て眩しいと感じる時は既に紫外線の害を受けてゐるのであります寒國で雪目に罹るのは、雪の上にキラ〳〵反射する太陽光線の紫外線によつて目が害されるからであります特製「大學眼藥」を點眼すれば、紫外線を防止して目を保護しますから、丁度色眼鏡を掛けて光線を遮るのと同じ効果があつて、而も色眼鏡を掛けた時の樣に鬱陶しい暗い感じは少しもありません。

以上三作用が一つになつて働く

以上の治病、美眼、紫外線防止の三作用は、別々に働くのではなく、互に相伴ひ相助けて强大なる複合的藥理作用を營み、病眼者にも、健眼者にも、申分なき効果を現はします。この獨特の働きこそ、特製「大學眼藥」を眼科藥の最高權威として自他ともに許し、眼科學の泰斗たる五大博士が口を揃へて推奬せらるゝ所以であります。

小兒の眼病には特製小兒用大學眼藥

特製小兒用大學眼藥は、頑是ない十才以下の小兒の眼病に對して痛がらせず早く治す獨特の調劑に成るもので、小兒用目藥の元祖として多年深き御信用を受けて居ります。

參天堂株式會社

大阪市東區北濱一丁目

國難日本刀（144）

高桑義生作　京極佳夕畫

善惡うら表（四）

「それでは、わたしの思ひ違ひかな」

と、瓏吉は思ひ直していった。なかしく隠して、知って知らぬ顔をするのは嫌だが、好んで藪をつゝくことはないと思ふのだった。

お島の様子はわからなかった。氣がついてゐて知らぬふりを装ふものか、それとも本當に知らずにゐるのか？

「いつぞや、こちら様にも仰有られたのですよ。永年お客商賣をしてゐますから、何處かでお目にかゝったのか知れませんね。でも、大勢のお客様のお相手なものですから、ついこちらでは……」

とお島は、巧にいふのだった。

「ま、そんな事だね、別嬪は違ったものだ。其方ぢや忘れてゐるが此方は、はっきり頭にきざみつけられて、忘れずにゐるといふわけだ。いゝ女には生れたいもの」

と清次がいった。

「あら、ずゐぶんですこと……」

とお島は色ッぽいやさ睨みを見せて、それをきっかけに腰を浮した。心のうちでは、瓏吉と名乗り合って、當時の事や、それからの物語を、わけても生きてゐる上月弓之助の事を、聞きたい思ひでいっぱいなのであるが——。

「もう逃げるのかれ、おかみ…」

「おほゝ……逃げるわけぢやございませんが、お支度を……」

「何だったら、向うがいつでもといふなら、これからすぐ五十鈴の方へ送って貰はうか」

と清次は瓏吉を見て

「瀧鈴屋」の小松花魁、顔だけもおがんだら——どうせ泊りはしないのだから、それからこゝに引上げて、ゆっくりひと騒ぎ、騒がうぢやないか、なあ、大島屋」

出たらめな屋號で、瓏吉をよんだが、人間の心理は妙なもので、瓏吉がゐる大島綿社——そこからの聯想で、その島が、現在目の前にゐるお島の島と結びついたのである。

瓏吉はうなづいた。無條件である。

「結構ですわ。どうぞ……」

とお島も調子をあはせた。

「では、氣の毒だが、さうして貰はうか」

お島は笑って、立ち上った。清次も瓏吉も、立った。

廊下の桐之進は、あわてゝ姿を隠した。

「御機嫌よう。お待ちして居りますよ」

とお島は、店先で二人を送って茶の間に入ると、長火鉢の前に、腕組をしてゐた桐之進が、ぐいと刺すやうな視線をあびせた。

お島は、とかく思案に、ぼんやり立ってゐると、

「おい、何を考へてゐる？まあ座れ」

お島は横坐りに、白い二の腕を見せて、辛氣らしく、珊瑚のかんざしを抜いて、頭をかいた。

「どうだ、やっぱりあれだらう？」

お島は頭をふった。

「向ふから名乗りかけたぢやないか。お前は、わざとはぐらかしたが、何故だ？變ぢやないか。まあそいつはいゝとして、何とか少し突ッ込んで、話の絲をほぐして見たらよささうなものだが……與力の女房らしくもない。少しはその邊の才覺がありさうな……またとない機會を棒にふってしまった……」

「だって、あなた、[illegible]ひますよ、ありやあ……」

「いや……」

「役人の目なんて、だから不自由だといふんですよ。何でも色眼鏡をかける。もしも當人なら、あたしにわからないはずがない」

「だから、隠すのか？」

「嫌だよ、あなたはどうかしてゐる」

「フム、まあいゝ。仕事はゆっくりかゝれるのだ」

桐之進は強て爭はなかった。そして、

「一本つけて貰はうか」

興味をそゝる新しい催し

協和會館で開催する　新民謡獨唱名畫の夕

若きテナー阿部幸次氏と解説界の新人松本喜太郎氏を迎へた本社主催大連滿鐵社員倶樂部後援の「新民謡獨唱と名畫の夕」は愈々五日夜六時半から協和會館にて開催するが既報の如く阿部幸次氏は昨夏イタリーから歸朝した許りの新民謡流行小唄選手としていま賣出し中の新進花形で各社のレコードを通じて氏の明朗快活な歌曲は新小唄愛好者を魅了してゐる、而も今日までのアカデミックな音樂會に較べて今回は大衆に呼びかけた興味あるリサイタルとして協和會館のステージを賑はすべく大いに期待されてゐる、また大阪大橋座の主任解説者として松本喜太郎時代を築いた解説界の新人松本喜太郎氏の特別解説によりメトロ特作發聲映畫ノーマ・シアラー主演の「假染の唇」を上映し「新民謡獨唱と名畫の夕」の新しい催しを敢行することになったものである、會費は一般一圓、本紙讀者及び倶樂部員は七十錢で五日午前九時から倶樂部事務所で前賣と共に座席券を交換する

帝國館を賃借し南信次氏が經營

松竹再映映畫で開館

帝國館は來る十七日限りで中野常助氏との契約滿期となり日活映畫は日活館（元大日活）へ移ることゝなり、その後の帝國館經營者に關して映畫街に各種のデマが飛んでゐたが、最近に至り中央映畫館の經營者南信次氏が株式會社帝國館と賃貸契約をなしこれを經營するとの説が或る一部に有力に傳へられてゐたところ、遂に三日南信次氏が株式會社帝國館側の多田氏と連れ立って帝國館の倉軍支配人を訪れて正式に挨拶をなし愈々これを裏書した

契約に至るまでの經緯については未だ詳細不明であるが、本社調査による契約の大體內容は數日前南氏との間に賃貸の假契約をなし、三日愈々同氏の經營が確定したもので來る廿二日より滿一ケ年間の期限で來る十五日本契約をなし、保證金は賃貸料の二ケ月分で、その代り南氏が設備する機械その他を以て保證をなし現在の中野氏の契約（保證金一萬圓）よりは餘程有利な條件である如く傳へられてゐるなほ開館は來る廿日頃の豫定で上映々畫は松竹再映物と見られ、一部には東活映畫説あるも長氏はこれを全く否定してゐるから結局松竹のセカンド館として大衆興行をする計畫らしく、この松竹セカンド館計畫はプレイガイドの峰島氏も目下上阪運動中と見られ、南氏が來る六日頃上阪して峰島氏と共に松竹大阪支店にて會見するものゝ如く、この間南氏と峰島氏との間に提携説あるも眞相はなほ不明である

◇假染の唇◇ 理智、明眸に輝くノーマ・シアラー孃が名演技を示してアカデミー賞を獲得した名畫でジョージ・フイッモーリス監督のメトロ特作發聲映畫（協和會館封切）

新民謡と名畫の夕
讀者優待割引券
この券持參者に限り七十錢
主催 滿洲日報社

日活館の開館披露

日活プロ決る

帝國館に上映中の日活映畫館は今月中旬より中野常助氏直營にて日活館（元大日活）に移ることゝなり、目下これが準備に忙殺されてゐるが、いよく來る十八日を期して華々しく開館することに確定し、改名開館披露興行の日活映畫は左の如く內定した

▲第一週「薩摩飛脚」と「勝って歸れ」▲第二週「浪人しぐれ」「朝風の海を唄ふ」▲第三週「白衣の饗宴」「さかく女と言ふものは」▲第四週「一九三二年の母」「江戸染子鞋」なほ第一、二週は混合プロとすべく第一週はパ社映畫「進めオリムピック」第二週はパ社映畫「君とひとゝき」を豫定して目下交渉中であると

盛況の女雲月

二日目讀物

大連劇場に出演の女浪曲界の花形天中軒女雲月一行は三日夜初日の蓋をあけたが、大衆的料金が果然客足をよび大入滿員の盛況を呈し女雲月をはじめ君代、君奴の三名手の熱演が好評を博してゐるが、今夜の讀物は左の如くである

神崎東下り天中軒月榮▲楠太鼓一風亭雪千代▲乃木將軍大和白菊▲齋藤內藏之助長崎喜代子▲文七元結妻川君奴▲佐原喜三郎妻川君代▲無筆の出世天中軒女雲月

けふの放送

大連 JQAK 十一月四日

▲午後六時十分 ニュース

▲講話「映畫と書籍」青山捨男（以下內地中繼）

▲放送舞臺劇（七時）「花の東京」（原作菊地寛、脚色畑本秋一）あい（夏川靜江）靜枝（小杉勇）エマ子（佐藤美子）順三（田村道美）良一（秦村次郎）美代子（市川春代）山崎（杉山正三）まるさん（石川均）母（藤波ゆかり）女給（市川春代）其の他刑事及村の男、獨唱淡谷規子、音樂指揮近藤晋一、演出指揮畑本秋一

▲長唄（七時四十五分）「勸進帳」（麹町下二番町長唄邦樂學校演奏所より）（問答入）唄芳村伊十郎、同富士田新藏、同芳村伊久四郎、同松島庄三九、同芳村辰三郎、同伊千十郎、三味線杵屋榮造、同榮左衛門、同榮左久、同榮之助、同榮美藏、上調子杵屋和吉、笛住田多藏、小鼓望月朴齋、同福原鶴三郎、同百之助、同望月太左衛門、太鼓同長太郎

▲小唄（八時三十一分）（以下大連放送局より）（一）初雪（二）腹のたつ時（三）主さん（四）與作（五）どうぞかなへて（六）木枯（七）かしが、唄大槻小ゑん、三味線同おせん、同脅手田村てる枝

▲職業紹介事項

▲ニュース

▲氣象通報

滿洲國噸稅 現在高率に過ぐ

改正に對する一般の要望

滿洲國の船舶に對する噸稅は過般の對外聲明により完全に支那の手より滿洲國に歸屬することゝなりその制度に就ては從來の支那の制度卽ち四ケ月間有效、發荷噸數當り銀四匁の率を踏襲し來つてゐるが元來支那の噸稅は一港に對し噸稅を納入すればその期間中他の四十五開港場に於て免除され、滿洲國獨立後と雖も滿洲國内の五開港を失つたのみで、その制度に於ては變りないが一方滿洲國に於ては五海港（大連港は無稅）にしか通用せず而も龍井村、ハルビンと安東、營口の如き地理的に見て全然關係なく從つて從來の支那の制度を踏襲し來れる結果は支那の率と比較して著るしい不均衡を來し居り、海運當業者間に於てはこれが合理的解決が焦眉の急務として要望されつゝあり、滿洲國當局に於てもその不均衡の是正に對して考慮中のものゝ如くであるが、これに關して當業者方面の意向を聞くに日本の噸稅制度に倣ひ一港一回登簿噸數一噸に付金四錢、これを三港分前納すれば一ケ年間有效なりとの制に改變すべしとの意見が有力に行はれてゐる、尤も日本の制度によれば噸當金七錢となつてをり、七錢は噸率金五錢に燈臺改良稅二錢を附加されたもので從來の稅率は五錢にして、一面より觀測すれば右の四錢といふのも日本に於ける事情と比較すれば日本は一ケ年中結氷を見ざるも滿洲國の開港場は冬期半ケ年間は結氷し殆ど使用されず從つて尙高率に過ぐるも滿洲國の現狀よりすれば當業者としても幾分の犧牲は止むを得ず四錢程度に引下が妥當であるとの論が行はれてゐる

輸組主催見本市 明春大連に開催

博覽會と前後して

來夏大連における市主催の日滿博覽會開催は永らく沈滯した大連市を振興するものとして各方面より多大の期待を持たれてゐるが一方滿洲の年中行事となつた輸入組合主催の滿洲見本市も博覽會と前後して大連において開催し新興滿洲國の門戶として大々的大連の發展を計畫されてゐる、卽ち來夏の博覽會は未曾有の大規模なものであり從つて出品も日滿經濟上重要なる意義を有すべくあらゆる方面を網羅されることゝなるが一方商取引專門の見本市も出品者及び來會者の便宜上からも同地開催が都合よく、これが爲め見本市も博覽會に前後して大連に開催されるものと觀られ關係方面では既に着々準備を進めてゐる

中間都市輸組の金融抑制論起る

注目すべき金融環境

滿洲各地輸入組合は創設以來、大體において健全なる發達を遂げて來たが、三、四中間都市組合では化不良的症狀の顯著なるものありその主要業務たる金融において消滿鐵當局においてもこの傾向は四國の經濟的環境並に組合員拂込額の增加に伴なふ貸付限度の擴張を懸到する時充分戒心を要するものとして、一兩年前より專ら堅實第一主義を採つて來たが、今やその警急は右に擧げた二つの原因により益々現實的なものとなつて來た一面滿洲經濟界の新動向より察するとき大連、奉天など地元大都市商人や内地當業者の中間都市に對する直接進出開拓の傾向が多分に行はれんとする一方伸縮性を缺ぐ中間都市の經濟狀態に鑑み、この際中間組合の金融方針につき何らかの具體的對策樹立の必要が痛感されるに至つた、而してその方策としては先づ全滿組合の畫一主義を打破し比較的に貸付の固定化乃至飽滿狀態にある中間組合につき堅實な發展を遂げつゝある組合と必ずしも歩調を共にせざるやう制肘し、その實力に應ずる範圍内において堅實を專らとする貸付並に回收を爲すやう善處すべきものと論ぜられてゐる、而してこれがためには滿鐵當局並に輸組聯合會においてもう少し徹底する監査統制を行ふ傍ら中間組合理事の自制が大いに要求されると共に、場合によつては組合員の保證關係をより堅實ならしむるため、商團組織よりは保證制度に改めた方が新情勢に添ひ進歩的で且實効的なものだとの意見も相當行はれてをり、ともかく中間組合の内面的自制問題は輸組當面の緊要事項として關係方面の關心を集めつゝある

日本の燃料問題

輸入石炭三十六割增

斯界に及す撫順炭の影響

商工大臣　中島久萬吉

燃料は云ふ迄もなく、産業上國防上缺くべからざるものである、燃料として近時重要な位置を占めてゐるものは、石油その他の液體燃料と石炭であるが、先づ産業上國防上絕對必要なものは石油で、石油の現狀を觀察すると、昭和六年には二百五十萬石の需要額に對し、八割五分は海外からの輸入品に依つて充足されたのである、石油の輸入のため年々九千萬圓の支拂を日本は外國にしてゐる。

石油の需要額は近年非常な勢ひを以て增加しつゝある、その增加率は最近十年間に四倍になつてゐる、この調子は將來も相當持續するだらうと思はれるが、我國の石油產出高は目覺ましい增加を示さない、十年前は需要額の六割を充してゐたが、今ではその一割五分である、石油の自給關係は將來益々憂ふべきものがある、我が國の石油資源は諸外國に較べて豐富と云へない迄も、その採掘努力の如何に依つては必ずしも悲觀するに當らないと思ふのである、國内に油田を持つことは國防上重要であつて、石油の開發に對しては政府も盡力し、獎勵金まで出してゐるのであるが、その金額の小なる爲めか、今日なほ十分な成績を見られないのは遺憾である。

◇

我が國の石油資源の分布狀態から見て、充分にこれを採る事が出來るやうになつても、將來それで自給自足出來やうとは考へられない、且輸入も我が意の如くならざるに至るに於いては、國内の資源開發と共に、海外に於ける石油資源を確保開發に官民一致して盡力すべきである、現在ボルネオの油田開拓に盡されてゐる民間會社があるが、これ等は大に意を强うするに足るものである、北樺太の石油資源は、我が國にとつて海外資源としては唯一のもので、これに對しては官民協力してその成果を擧げしめなければならない、現在の油田オハのみでも、年二十三萬石は採れるのである、これは内地の產油總額と同額である、北樺太にはこの外に、三億五千萬坪の土地が開發に殘されてゐるが、その試掘期間は、向ふ四ケ年の無期間になつてゐるので、政府は石油の需要總額に對して三百七十萬噸を輸入して居る、而して昨年の輸出は百五十萬噸である、十年前の數字と比較するに、その需要は一割を增加し、輸出は六割減じ輸入は實に三十六割增加してゐる

◇

石炭は年々輸出減少し、反對に輸入が增加し、昭和六年には三千日本の内地埋藏量は百六十五億噸と云はれて居るが、イギリスの千三百億噸、ドイツの二千三百億噸に比すれば非常に貧弱である、石炭は直接燃料とし、液體燃料の原料とし、化學工業の原料として、益々需要の增加するものである、現に惱みつゝある滿洲、山東、北樺太石炭開發以外に、列强の手をつけてゐない海外の資源にも、先んじて手を延ばす必要がある、本年の春、滿洲炭輸入問題で秘丼が奔走した事があるが、近き將來に於て、撫順炭と内地炭の調和問題は、何かの形で解決しなければならないと思ふ、これは獨り石炭のみの問題でなく、日滿經濟の大問題の一部分なのである。

を急がせてゐる次第である。海外資源と共に、石油代用原料の問題、卽ち石炭、高粱、馬鈴薯等から石油をとる石油代用原料の工業を盛大にせしめたい、旣に撫順炭礦では海軍の力を借りて、石炭から年產五萬石の重油を採つて居るが、液體燃料の解決はこの方面から致さるべきだと考へる、近來發動機船漁業の發達、自動車の發達、各種工業發達の結果、石油の需要は增加し、その爲めに國内に燃料會社が續出し、これに外國の會社が加はつて、極東はこの種の會社の猛烈な競爭場と化した觀がある、その結果として揮發油の如きは、一時底なしの安價狀態に陷つたこともある、同業者間の連絡統一が表面の問題となりつゝあるのである。

石炭共販會社と飽迄協調の態度

滿鐵の方針は少しも變らぬ

東京にて　十河理事語る

◇…滿鐵が、なぜ石炭共同販賣會社に參加しなかつたか。これには相當の理由がある。滿鐵が單なる營利會社ではない。國家的使命を有する事業會社である事は今更いふまでもない。

◇…それ故に、一部資本家のみに利益といふ事よりも一般國民の消費經濟に就て、相當に考慮しなければならぬ。卽ち資本家の利益のみを圖るといふ事より、一般國民の幸福についても充分の考慮を拂はねばならぬ。換言すれば消費者の利益を念頭において事業を進めて行かねばならぬ。

◇…然し乍ら、滿鐵がひとり橫暴なる行爲をする譯でない。滿鐵としては出來る限り、石炭共同販賣會社と提攜協調して最も公平なる販賣方法を採る考へである。

◇…滿鐵が社外の炭坑業者と協調を保つて、極めて公平なる販賣政策を採つてゐる事は、海運協定を今日に至るまで尊重してゐる事によつても明らかである。

◇…滿鐵は從來に於ても、今日に於ても、日本内地の炭坑業者とよく協調を保つて、要するに「日滿相互扶助の經濟」の原則によつて事業を進めて來たのである。

◇…兎に角、石炭問題の解決は日滿經濟連絡の前提をなすものであり、各種の事業の標準をなすものであるから、出來る丈け愼重に問題を考察し、有力なる朝野の意見をも參考にして、萬全を期したいと、目下折角努力中である。

◇…滿鐵は、今日まで石炭聯合會に參加してゐなかつたけれども、外に在つて石炭聯合會と極めて密接な協調を保つて來て居る故に實際上に於ては石炭聯合會のメムバーになつてゐるのと少しも變りがない。それ程に圓滑に提攜して來てゐる。

◇…從つて今度日本内地に於て石炭販賣に關する統制會社が設立せられ、それが健全なる發達をなす事は、滿鐵としても希望して已まないのみならず、その成立の曉には、前述の趣旨に則つて、石炭聯合會に對すると同樣、緊密なる連絡を圖るつもりである。

◇…昨日、拓務省に於て永井拓相、堤、河田兩次官などゝ懇談して、日滿兩國經濟が相互に扶助し

五品市場

十月中出來高

大連五品取引所における十月中の取引高は株式部定期二萬九千七百七十枚、延二萬九千五百八十枚、鈔票六千八百枚合計六萬六千百五十枚でこれを九月中の出來高に比較すると四萬一千二百枚の減少を示し商品部の出來高は麻袋百七十五萬四千枚、綿糸定期二千九百四十梱、延百二十五梱、綿布延百九十俵で手數料收入は五千六百六十四圓、十月末現在の手數料累計は三萬五千七百七十六圓となつてゐる

東京株式暴落

【東京四日發】東京株式市場株安は各砂糖會社の稅金が安過ぎるの提據して行く方法に就いても收穫なき意見の交換をなした次第である。日滿相互扶助の經濟を確立する事に就ても政府の意嚮を充分に承つたが、その事については他日ゆつくり申上げる事にしたい

で課稅引上げの機運が動いたを反映して砂糖株（東糖明糖）暴落し安日糖新二圓十錢安）低落した

日米爲替保合

【ニューヨーク三日發】米日爲替は二十一弗三十七仙で保合配ポンヤリ

臺灣青果物 逐年增加しやう

揚松臺北商業會囑託談

臺灣總督府囑託臺北商業會理事揚松氏は四日朝入港あめりか丸にて來連したが氏は語る

滿洲國も建設され吾が國も正式承認せる今日日滿兩國は將來益々密接ならんさしてゐるが、臺灣に於いても今度大連汽船の臺滿定期連絡船の就航を機として從來より一層熱帶青果物及び熱帶植物の移輸出を圖らんさしてゐるので、その視察がてら約一ケ月の豫定で來たのである、滿洲は從來よりパイナップルの鑵詰の需要は相當多くその他熱帶果物の消費も相當の量に達してゐるが、主として廣東邊りから供給を受けてゐた樣に聞いてゐる、然し今後臺灣大連間の定期船が就航すればより安い運賃で最も好條件にある安價な臺灣青果物はどしどし輸出せられる事と思ひ、また充分他品と競爭し得る自信をもつてゐるので、この方面の調査並びに打合せを行ひたいと考へてゐる

十九銀行休業

【レノ一日發】ネヴアダ州の銀行休業は更に七行を增し全州二十五の銀行中十九行迄扉を鎖しレノ市の銀行三行中二行迄休業するに至つた

大連窯業決算

利益金繰越し

大連窯業會社では去月卅一日總會を開き本年度上半期決算の承認を求めたが當期の案績をみるに總收入十五萬一千三百餘圓に對し總支出十三萬八千百餘圓、差引一萬三千餘圓の純益金を計上しこれを諸積立に九千七百圓、役員賞與に一千三百圓を當て二千百二十九圓を次期に繰越した

鮮銀券膨脹

發行八千九百萬

十月末現在鮮銀券發行高は八千九百七十七萬三千十七圓八十錢にして七百五十一萬九千七百六圓の增發で前年同月に比すれば一千三百二十七萬八千二百四十七圓の大增發であるが膨脹原因は物價高と滿洲關係資金及び先高見越しによる商品の思惑資金等需要增加による

會議所臨時總會

大連商工會議所では四日午後二時から臨時總會を開き左記の件を附議した

一、昭和七年度基本金並に職員退職給與基金豫算變更の件

二、常議員一名補缺選擧の件

鮮銀總裁來連

朝鮮銀行加藤總裁は五日午後七時五十分「はと號」にて來連七日朝飛行機にて歸鮮する豫定である

滿鐵線特產輸送 愈本調子に入る

當事者は貨車繰りに懸命

滿鐵線の特產輸送は愈々本調子となり二十八日の全線使用貨車數一千八百六十二車で本年の最高記錄を作り續いて三十日には更にこれを突破すること三十三車の一千八百九十五車に達した結果早くも貨車の拂底を來し一日の如きは洮保大豆のみにても全線を通じて約四百車を抑留するに至つたので、滿鐵當局は貨車の遣り繰りに頭を惱ましてゐる、因に滿鐵が南行貨物輸送に使用する列車蘇家屯大石橋間十七列車、鐵嶺蘇家屯間九列車撫順十列車である

黃麻

◇…日支紛爭の結果南支那向輸出は著るしく停頓してゐたが昨今漸次好轉復舊の傾向顯著となり上海および漢口を中心とする長江筋への輸出量は平年に比し完全に五割を占むるに至つたさうだ。

◇…更に天津方面向輸出の如きも可なり增加の傾向を辿るなどわが對支貿易が最近著るしく改善されて來たことは頗る注目すべき現象である。

◇…一方滿洲向輸出はますます好轉を示し殊に最近は銀高の影響を受け非常な活況を呈してゐる。

◇…對外貿易全體からみれば大した好轉を示したといふ程ではないが部分的にも貿易の好況を示しつゝあることは喜ばしい現象である。

市況（四日）

特產

邦商賣に大豆弱保合

今朝の定期は大豆奧地安邦弱保合を示し、豆油は閑散乍ら弱保合、豆粕又大豆同樣高粱は各品安に邦商賣あり引けた

◇現物前場（銀建）

▲大豆（軟弱）單位

限月	寄付	高値	安値
十一月末	三二〇	三二〇	三〇〇
十二月末	三〇〇	三〇〇	三〇〇

◇定期前場（銀建）

▲普通大豆出來不申

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二百二十九車

▲豆粕（弱保合）單位厘

出來高　三萬一千枚

▲豆油（弱保合）單位錢

出來高　一千五百箱

▲高粱（軟弱）單位厘

出來高　四十二車

▲包米出來不申

◇定期前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	五一〇〇	五一二〇
出來高	八十車	
普通（袋物）大豆（裸物）	五〇五〇	五〇五〇
出來高	百車	
豆粕	一六〇〇	一五九五
出來高	一萬八千枚	
豆油	一三八五	一三八〇
出來高	二千八百函	
高粱	二三九〇	二三九〇
出來高	八車	
包米	三〇五〇	三〇五〇
出來高	八車	

定期喰合高（二日入）

		前日對比較
大豆	四五〇三車	八〇車
高粱	八六三車	△七車
豆粕	五二八千枚	二千枚
豆油	八四〇百箱	一五百箱

（△印減）

錢鈔

爲替弱含み 當市反落

今朝日米爲替は第一回十六分の一安の二十一弗八分の一、第二三回同事さ小安なれども當市は買疲れ上げ過ぎのため一圓内外反落した、米日同事の二十一弗二十五仙海外銀塊は倫敦近物十六分の一安

株式

內地株軟落

當市も軟弱

豆

銀

糸

株

商品

麻袋暴騰

綿糸聢り

滿鐵株（保合）

上海爲替情報

各地特產發送高

上海標金

大連埠頭到着高

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

印度麻袋

東京株式

大阪株式

大阪期米

神戶期米

東京期米

神戶日米

棉花

市場電報

銀塊及爲替

爲替相場

鈔銀

奧地市況

錢鈔

特產